

# 接着・封止材

## Weekly Intelligence Report

2026-06-06 | 28件 | 8カ国

troy-technical.jp

今週のキーワード

## EV/AI材料

熱対策と信頼性向上、中国の台頭

28

件  
総記事数

8

カ国  
対象国

12

W/mK  
最高熱伝導率

230

°C  
最高Tg

### 今週の全28記事 — 5軸評価で読むべき記事を選ぶ

各列の見方 — 技術新規性：ブレークスルー度合い 実用化距離：製品として使える近さ 市場インパクト：業界全体への影響規模  
データ信頼性：定量データ・査読の有無 日本関連度：日本の企業・サプライチェーンとの直接的関連性

#	記事タイトル	種別	技術 新規性	実用化 距離	市場 インパクト	データ 信頼性	日本 関連度	一行サマリ
#01	Dow、AI向け熱伝導ゲル	新製品	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	DowがAI・高速ネットワーク向けに熱伝導率12 W/m・K、低アウトガスのDOWSIL TC-3120サーマルゲルを発表。光モジュールやデータセンターの熱管理を革新。
#02	EV熱暴走防止接着剤	技術レポート	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	PatSnapレポートがEV・エネルギー貯蔵システムの熱暴走防止に先進接着剤の重要性を指摘。熱伝導率向上、温度安定性、難燃性材料の開発に焦点。
#03	Arkema、EVバッテリー材	製品紹介	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	ArkemaがBattery Show EuropeでEVバッテリー向け統合材料ソリューションを発表。新型PVDF、シリコン負極用材料、デポンド・オン・デマンド技術など。
#04	QinanX UV接着剤	製品紹介	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	QinanXが電子・光学・医療分野向けに高速硬化、高透明、低収縮のUV硬化型接着剤を提供。生産効率と製品信頼性向上に貢献。
#05	PKG/FD剥離低減接着剤	技術レポート	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	PatSnapレポートが先進パッケージングとフレキシブルディスプレイのセル剥離リスク低減のため、接着剤カバレッジ最適化の重要性を強調。
#06	T-Global低アウトガスパッド	新製品	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	T-Global Technologyが高信頼性電子機器向けに低アウトガス熱伝導パッド「TG-AD30D」を発売。航空宇宙、AIインフラ、車載向け。
#07	中国PKG材料キャッチアップ	市場レポート	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	SemiMediaレポートが、中国がAI・HPC向け先進パッケージング材料で世界的キャッチアップを加速していると報告。国産化と性能向上に注力。
#08	Beckers、再生可能樹脂工場	企業戦略	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	Beckers Groupがインドに再生可能樹脂新工場を開設し、持続可能なコーティング材料供給を強化。サプライチェーンのレジリエンス向上へ。
#09	Wacker、EV熱暴走バリア	新製品	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	Wacker ChemieがEVバッテリー安全性を高める熱暴走時セラミックバリア「ELASTOSIL® CM」シリーズを発表。柔軟で薄く高安定なヒートシールド。
#10	tesa、紙製テープ導入	製品紹介	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	tesaが「tesafilms® PAPER」導入で90年の歴史を祝い、持続可能なテープ生産を拡大。溶剤フリーでエネルギー効率の高いプロセスを採用。
#11	Parker、EV熱暴走抑制材	新製品	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	Parker LordがEV用円筒形バッテリーの熱暴走伝播を抑制する低コスト液状材料「CoolTherm SF-1000」を開発。火災ブランケットとして機能。
#12	Tecman、BESS熱暴走パッド	新製品	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	●●●●○	Tecmanがバッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）の熱暴走伝播を防ぐ抗熱伝播（ATP）パッドを発表。熱絶縁と物理スパーサーを組み合わせ。

#	記事タイトル	種別	技術 新規性	実用化 距離	市場 インパクト	データ 信頼性	日本 関連度	一行サマリ
#13	熱応力とバッテリー接着剤	技術レポート	●●●○ ○	●●○○ ○	●●●● ○	●●●○ ○	●●●● ●	PatSnapレポートが熱応力がバッテリー接着剤の経時的強度に与える影響を分析。高耐熱性接着剤の開発とEU新規制の強化を強調。
#14	ORAFOL、米国事業拡大	企業戦略	●○○○ ○	●●●● ●	●●○○ ○	●●●○ ○	●○○○ ○	ORAFOLがMaxpro Manufacturing買収で米国プレゼンスを拡大し、自動車、建築、塗装保護向けの機能性フィルム事業を強化。
#15	WEVO、EV熱暴走シーリング	新製品	●●●○ ○	●●●● ○	●●●● ○	●●●○ ○	●●●● ●	WEVO-CHEMIEがEVバッテリーの熱暴走保護向けに高性能シリコンシーリング材「WEVOSIL 23130」を発表。ガス・煙封じ込め、構造維持に貢献。
#16	Henkel、OLAPLEX買収	企業戦略	●○○○ ○	●●●● ●	●○○○ ○	●●●○ ○	●○○○ ○	Henkelが美容分野での存在感を強化するため、ヘアケアブランドOLAPLEXを14億ドルで買収合意。グローバル美容市場の統合を反映。
#17	Ammega、水性PUベルト	新技術	●●●○ ○	●●●● ●	●●●○ ○	●●●○ ○	●●○○ ○	Ammegaがジョージア州工場で水性ポリウレタンベルト生産を世界で初めて開始。VOC削減と生分解性向上で持続可能性を推進。
#18	Henkel、AI/HPC向けPKG材	技術紹介	●●●○ ○	●●●○ ○	●●●● ○	●●●○ ○	●●●● ○	Henkel Adhesivesが高性能コンピューティングと生成AI向けに先進半導体パッケージング材料を革新。2.5D/3Dパッケージングに対応。
#19	タルクのEV/PE応用	技術レポート	●●●○ ○	●●●○ ○	●●●● ○	●●●○ ○	●●●● ○	Alliance ChemicalレポートがEVバッテリー熱管理およびパワーエレクトロニクスにおける精製タルクの先進技術応用を解説。CTE低減、TIM、防火バリアに利用。
#20	住友ベークライトSiC EMC	新製品	●●●● ○	●●●● ○	●●●● ○	●●●● ○	●●●● ●	住友ベークライトが次世代SiCパワーモジュール向けに業界最高Tg 230°Cのエポキシモールドディングコンパウンド「G785シリーズ」を発表。高Tgと低応力を両立。
#21	チップ埋め込みボイド低減	技術レポート	●●●○ ○	●●○○ ○	●●●● ○	●●●○ ○	●●●● ●	PatSnapレポートが高信頼性システム向けチップ埋め込みエポキシにおけるボイド発生低減技術の重要性を指摘。Resonac、住友ベークライトなどの取り組みを紹介。
#22	UV硬化接着剤の高速性	技術レポート	●●●○ ○	●●●○ ○	●●●● ○	●●●○ ○	●●●● ○	PatSnapレポートが半導体チップ埋め込みにおけるUV硬化型接着剤の高速性（5〜30秒硬化）と技術革新を比較。生産効率向上に貢献。
#23	Brilliant、溶剤フリー接着剤	製品紹介	●●○○ ○	●●●● ○	●●●○ ○	●●●○ ○	●●○○ ○	Brilliant PolymersがInterpackで省エネ・VOCフリーの次世代溶剤フリー接着剤を展示。フレキシブルパッケージング向け。
#24	DalFort、ファンドクローズ	企業戦略	●○○○ ○	●●●● ●	●○○○ ○	●●●○ ○	●○○○ ○	DalFort Capital Partnersが第2ファンドを1.66億ドルでクローズし、Polymer Adhesives Holdingsを売却。接着剤・防火材料メーカーの成長を支援。
#25	動的ディスプレイ向けOPSA	学術論文	●●●● ●	●○○○ ○	●●●○ ○	●●●● ●	●●●○ ○	ResearchGate論文で、水素結合を可逆的に制御する半相互浸透性オルガノゲルOPSAが開発。動的ディスプレイ向けに高い接着安定性、柔軟性、高透過率を実現。
#26	Fengling UV接着剤	企業紹介	●●○○ ○	●●●● ●	●●●○ ○	●●○○ ○	●●●○ ○	Fengling New Materialsが電子・医療・光学産業向けUV硬化型接着剤の専門メーカーとして、高速硬化、高透明、低収縮の製品を提供。
#27	Siegwerk、ヒートシールラッカー	新製品	●●○○ ○	●●●● ○	●●●○ ○	●●●○ ○	●●○○ ○	Siegwerkが繊維ベース・フレキシブルパッケージング向けに循環型経済戦略を統合した「Cirkit Novaseal」ヒートシールラッカーを発表。
#28	Henkel、海洋用途LOCTITE	製品紹介	●●○○ ○	●●●● ●	●●○○ ○	●●●○ ○	●●○○ ○	HenkelがNor-Fishing 2026で海洋用途向けLOCTITE®接着剤・シーラント・コーティングを展示。過酷な海洋環境での信頼性と耐久性を向上。

●●●●○ High ●●●○ Med-High ●●○○ Med ●○○○ Low | 背景黄色 = 注目記事

## 今週、判断に影響する3つの問い

### ① EVバッテリーの熱暴走対策、既存の設計前提を覆すか？

Wacker Chemieのセラミック化バリアやParker Lordの液状ディスプレイ材料は、熱暴走伝播抑制において、従来の物理バリアや冷却システムに代わる低コスト・高効率なソリューションとなる可能性があります。これらの新技術は、バッテリーパックの設計自由度と生産効率をどこまで高められるでしょうか？

### ② 半導体先進パッケージング材料の進化は、AI/HPCの性能限界を押し上げるか？

住友ベークライトのSiCパワーモジュール向け高Tg EMCや、チップ埋め込みエポキシのボイド低減技術は、AI・HPCチップの高性能化と信頼性向上に不可欠です。これらの材料革新は、ムーアの法則の限界に直面する半導体業界において、次世代デバイスの性能をどこまで引き上げ、市場競争力を左右するのでしょうか？

### ③ 中国の材料技術キャッチアップは、日本のサプライチェーンに脅威か機会か？

SemiMediaレポートが示すように、中国はAI・HPC向け先進パッケージング材料で急速に国産化を進めています。高機能樹脂、TIM、EMCなどの分野で国際基準に匹敵する製品が登場する中、日本の材料メーカーや半導体関連企業は、この動きを単なる脅威と捉えるべきか、それとも新たな協業や市場開拓の機会とすべきでしょうか？

## 日本企業にとっての「機会 vs 脅威」

### 日本企業にとっての「機会 vs 脅威」マトリクス



項目	象限	↑ 機会	↓ 脅威
● AI熱対策	注意	高性能TIMの需要増	競合の高性能品投入
● EV安全材	注意	熱暴走対策材料の需要増	規制強化と開発競争
● SiC EMC	機会大	高耐熱EMCで市場リード	競合の追随、開発難易度
● 中国PKG材	脅威大	中国市場への参入機会	サプライチェーン再編
● UV高速化	機会大	生産性向上、新市場開拓	競合の技術追随
● 柔性接着	機会大	次世代デバイスの基盤技術	実用化までの時間とコスト
● 環境対応	注意	環境規制対応製品の需要増	コスト増、性能維持の課題

## 深掘り ① — SiCパワーモジュール向け高Tg EMC

#20 | 2026/06/01 | Sumitomo Bakelite Co., Ltd. | 技術新規性●●●●○ 実用化距離●●●●○ 市場インパクト●●●●○  
データ信頼性●●●●○ 日本関連度●●●●●

住友ベークライトが次世代SiCパワーモジュール向けに、業界最高Tg 230°Cを達成した「G785シリーズ」エポキシモールドディングコンパウンド（EMC）を発表しました。この新材料は、高Tgと低応力のトレードオフを独自の技術で解消し、硬化後の弾性率上昇を抑制することで、反り、剥離、樹脂クラックといった信頼性問題を最小限に抑えます。

SiCデバイスは200°C以上の高温動作が想定され、熱膨張係数（CTE）ミスマッチによる応力はデバイス寿命に直結します。G785シリーズは、この課題を根本的に解決し、高信頼性のパッケージングを実現。優れた電気絶縁性、耐湿性、耐熱性も兼ね備え、EV、再生可能エネルギーシステム、産業機器などでのSiCパワーモジュールの普及を加速させます。

### ▶ 技術者の視点

住友ベークライトのG785シリーズは、SiCパワーモジュールの信頼性向上における長年の課題であった「高Tgと低応力の両立」を実現した点で画期的な成果です。Tg 230°Cという数値は業界トップクラスであり、この性能が実環境下で安定して発揮されれば、SiCデバイスの適用範囲を大きく広げられるでしょう。ただし、EMCの特性は成形プロセス条件に大きく依存するため、顧客側での最適なプロセス開発支援が鍵となります。【機会】日本の材料メーカーは、SiC市場の成長を牽引する高機能EMCで優位性を確立できます。日本の半導体PKGメーカーやEVメーカーは、この材料を採用することで製品の信頼性と性能を向上させ、国際競争力を高める機会となります。【脅威】競合他社も同様の高性能EMC開発に注力しており、技術的な優位性を維持するための継続的なR&D投資が不可欠です。また、サプライチェーンの安定性確保も重要です。【次のアクション】R&D部門は、G785シリーズのサンプル評価を即時開始し、自社のSiCパワーモジュール設計への適合性を検証すること。経営企画部門は、SiC市場におけるEMCの長期的な需要予測と、住友ベークライトとの戦略的パートナーシップの可能性を検討すること。

## 深掘り ② — EVバッテリー熱暴走時セラミック化バリア

#09 | 日付不明 | Wacker Chemie AG | 技術新規性●●●●○ 実用化距離●●●●○ 市場インパクト●●●●○  
データ信頼性●●●●○ 日本関連度●●●●●

Wacker Chemie AGがEVバッテリーの安全性を高めるシリコン技術「ELASTOSIL® CM」シリーズを発表しました。この材料は、熱暴走発生時に極端な熱ストレス下でセラミック化し、硬質で熱的・電氣的に絶縁性の高い層を形成することで、熱、炎、粒子の隣接セルへの伝播を効果的に阻止します。

従来の剛性バリアと比較して柔軟性があるため、バッテリーパックの設計自由度が高まり、システム全体の軽量化にも貢献します。EUバッテリー規則2023/1542などの規制強化が進む中、この技術はEVの安全性における最大の懸念事項である熱暴走対策に革新的なソリューションを提供します。

▶ 技術者の視点

Wacker ChemieのELASTOSIL® CMシリーズは、熱暴走時に「セラミック化」というユニークなメカニズムで、EVバッテリーの安全性向上に大きく貢献する可能性を秘めています。柔軟性があることで、バッテリーパックの複雑な形状にも対応しやすく、軽量化にも寄与する点は評価できます。ただし、セラミック化の速度、形成されるバリア層の機械的強度、長期的な信頼性、そしてコストパフォーマンスについては、さらなる詳細なデータと実証が必要です。【機会】日本のEVメーカーや電池メーカーは、この技術を導入することで、バッテリーの安全性と設計自由度を同時に向上させ、製品の競争力を高めることができます。日本の材料メーカーは、同様の機能を持つ材料の開発や、Wacker Chemieとの協業を通じて市場機会を創出できます。【脅威】この技術が標準化された場合、既存の熱暴走対策材料サプライヤーは、製品ポートフォリオの見直しを迫られる可能性があります。また、材料の調達コストや供給安定性も考慮すべき課題です。【次のアクション】EV設計部門は、ELASTOSIL® CMシリーズのサンプルを入手し、自社のバッテリーパック設計における熱暴走伝播抑制効果と、軽量化への貢献度を評価すること。R&D部門は、セラミック化メカニズムの詳細を分析し、類似技術の可能性を検討すること。

## 深掘り ③ — 動的ディスプレイ向けOPSA開発

#25 | 2026/06/04 | ResearchGate (Wiley - Advanced Materials Technologies) | 技術新規性●●●●● 実用化距離●○○○○  
市場インパクト●●●○○ データ信頼性●●●●● 日本関連度●●●○○

ResearchGateで発表された論文によると、動的な光学デバイス向けに、水素結合相互作用を可逆的に制御できる半相互浸透性ネットワークオルガノゲル光学感圧接着剤（OPSA）が開発されました。このOPSAは、繰り返しの変形下でも優れた動的接着安定性、高い剥離強度、柔軟性、および高透過率を達成します。

従来の感圧接着剤が動的応力下で剥離しやすい課題を解決するため、ポリマーとオルガノゲルがsemi-IPN構造を形成し、可逆的な水素結合により粘弾性特性を動的に調整します。これにより、フレキシブルディスプレイ、電子ペーパー、ウェアラブルデバイスなど、次世代のフレキシブルエレクトロニクスへの応用が期待されます。

### ▶ 技術者の視点

水素結合の可逆的制御による動的接着安定性の向上は、フレキシブルエレクトロニクス分野における接着剤のブレークスルーとなり得る技術です。特に、折りたたみディスプレイやウェアラブルデバイスの耐久性向上に直結するため、学術的な新規性は非常に高いと評価できます。ただし、基礎研究段階であり、大規模生産における再現性、コスト、長期信頼性、そして様々な環境条件下での性能安定性といった実用化に向けた課題は山積しています。【機会】日本の材料メーカーは、このコンセプトを応用した次世代接着剤の開発で、フレキシブルデバイス市場における新たなリーダーシップを確立する機会があります。日本のディスプレイメーカーや電子デバイスOEMは、この技術の動向を注視し、将来の製品設計に取り入れることで、競合優位性を築ける可能性があります。【脅威】実用化までの道のりが長く、他国の研究機関や企業が先行するリスクも存在します。また、既存のOCA/PSA市場を置き換えるには、性能とコストの両面で圧倒的な優位性を示す必要があります。【次のアクション】R&D部門は、この論文で示されたメカニズムと材料設計について詳細な技術調査を実施し、自社の研究テーマとの関連性を評価すること。経営企画部門は、フレキシブルエレクトロニクス市場の長期的な動向を再評価し、OPSAのような革新的な接着技術が市場に与える影響を予測すること。

## その他の注目記事

Dow、AI・高速ネットワーク向けに熱伝導率12 W/m・KのDOWSIL TC-3120サーマルゲルを発表  
技術新規性●●●●○ 実用化距離●●●●○ 市場インパクト●●●●○

AI/HPCの発熱量増大に対応する高熱伝導率と低アウトガスを両立したTIMは、データセンターや光モジュールの信頼性向上に不可欠。日本企業も注目すべき製品。

SemiMediaレポート：中国がAI・HPC向け先進パッケージング材料で世界的キャッチアップを加速  
技術新規性●●○○○ 実用化距離●●●○○ 市場インパクト●●●●●

中国の半導体材料国産化の動きは、日本のサプライチェーンに大きな影響を与える。高機能樹脂、TIM、EMCなど広範な分野で競争が激化する可能性があり、戦略的な対応が急務。

Parker Lord、EV用円筒形バッテリーの熱暴走伝播を抑制する低コスト液状材料「CoolTherm SF-1000」を開発  
技術新規性●●●●○ 実用化距離●●●●○ 市場インパクト●●●●○

液状ディスペンシングによる熱暴走伝播抑制材料は、EVバッテリーの製造プロセス簡素化とコスト削減に貢献。特に円筒形セル採用メーカーにとって魅力的なソリューション。

## 今週のアクション提案

記事評価マトリクスと機会/脅威分析を踏まえたアクション提案です。

### ■ 即時（今週中）

- 【R&D;】 Dow、Wacker Chemie、Parker Lord、住友ベークライトの最新製品データシートを入手し、自社製品への適用可能性を評価。
- 【調達】 中国の半導体材料サプライヤー動向を調査し、既存サプライチェーンのリスクと機会を評価。
- 【半導体PKG】 UV硬化型接着剤の高速硬化技術に関する最新情報を収集し、自社の製造プロセスへの導入可能性を検討。

### ■ 短期（1ヶ月）

- 【EV設計】 熱暴走対策材料（セラミック化バリア、液状フォーム、ATPパッド）のサンプル評価を開始し、設計への組み込みを検討。
- 【半導体PKG】 高Tg EMCやチップ埋め込みエポキシのボイド低減技術に関する最新レポートを詳細分析し、次世代PKG設計への影響を検討。
- 【経営企画】 環境配慮型接着剤・シーリング材市場の成長予測と、自社の持続可能性戦略への統合を検討。

### ■ 中長期（四半期～）

- 【R&D;】 フレキシブルディスプレイ向けOPSAのような基礎研究段階の技術について、大学や研究機関との共同研究の可能性を模索。
- 【材料開発】 AI/HPC向け高熱伝導TIM、高耐熱接着剤の次世代開発ロードマップを見直し、競合優位性を確保する戦略を策定。
- 【経営企画】 中国の材料技術キャッチアップが日本のサプライチェーンに与える影響を分析し、長期的な事業戦略とリスクヘッジ計画を策定。

# 接着・封止材 採用記事全文集

出力日: 2026-06-06

採用記事数: 28 件

## 収録記事一覧

- #01 Dow、AI・高速ネットワーク向けに熱伝導率12 W/m・KのDOWSIL TC-3120サーマルゲルを発表
- #02 PatSnap Eurekaレポート：EV・エネルギー貯蔵システムにおける熱暴走を防ぐための先進接着剤配合技術
- #03 Arkema、Battery Show Europe 2026で次世代EVバッテリー用材料ソリューションを発表
- #04 QinanX New Material、電子・光学・医療分野向けに高速硬化・高透明・低収縮UV硬化型接着剤を提供
- #05 PatSnap Eurekaレポート：先進パッケージングとフレキシブルディスプレイにおけるセル剥離リスクを低減する接着剤カバレッジの最適化
- #06 T-Global Technology、高信頼性電子機器向けに低アウトガス熱伝導パッド「TG-AD30D」を発売
- #07 SemiMediaレポート：中国がAI・HPC向け先進パッケージング材料で世界的キャッチアップを加速
- #08 Beckers Group、インドに再生可能樹脂新工場を開設し持続可能なコーティング材料供給を強化
- #09 Wacker Chemie、EVバッテリー安全性を高める熱暴走時セラミック化バリア「ELASTOSIL® CM」シリーズを発表
- #10 tesa、「tesafilm® PAPER」導入で90年の歴史を祝い持続可能なテープ生産を拡大
- #11 Parker Lord、EV用円筒形バッテリーの熱暴走伝播を抑制する低コスト液状材料「CoolTherm SF-1000」を開発
- #12 Tecman、バッテリーエネルギー貯蔵システムの熱暴走伝播を防ぐ抗熱伝播（ATP）パッドを発表
- #13 PatSnap Eurekaレポート：熱応力がバッテリー接着剤の経時的強度に与える影響とEU新規制の強化
- #14 ORAFOL、Maxpro Manufacturing買収で米国プレゼンスを拡大し機能性フィルム事業を強化
- #15 WEVO-CHEMIE、EVバッテリーの熱暴走保護向けに高性能シリコンシーリング材「WEVOSIL 23130」を発表
- #16 Henkel、美容分野での存在感を強化するためOLAPLEXを14億ドルで買収合意
- #17 Ammega、ジョージア州工場で水性ポリウレタンベルト生産を拡大し持続可能性とVOC削減を推進
- #18 Henkel Adhesives、高性能コンピューティングと生成AI向けに先進半導体パッケージング材料を革新

- #19 Alliance Chemicalレポート：EVバッテリーとパワーエレクトロニクスにおけるタルクの先進技術応用
- #20 住友ベークライト、次世代SiCパワーモジュール向けに業界最高Tg 230°Cのエポキシモールドディングコンパウンド「G785シリーズ」を発表
- #21 PatSnap Eurekaレポート：高信頼性システム向けチップ埋め込みエポキシにおけるボイド発生低減技術
- #22 PatSnap Eurekaレポート：チップ埋め込みにおけるUV硬化型接着剤の高速性比較と技術革新
- #23 Brilliant Polymers、Interpackで省エネ・VOCフリーの次世代溶剤フリー接着剤を展示
- #24 DalFort Capital Partners、第2ファンドを1.66億ドルでクローズ、Polymer Adhesives Holdings売却で成功
- #25 ResearchGate論文：動的ディスプレイ向けに水素結合を可逆的に制御する半相互浸透性オルガノゲルOPSAを開発
- #26 Fengling New Materials、電子・医療・光学産業向けUV硬化型接着剤の専門メーカー
- #27 Siegwerk、繊維ベース・フレキシブルパッケージング向けに循環型経済戦略を統合した「Cirkit Novaseal」ヒートシールラッカーを発表
- #28 HenkelとHans Claussen、Nor-Fishing 2026で海洋用途向けLOCTITE®接着剤・シーラント・コーティングを展示

# Dow、AI・高速ネットワーク向けに熱伝導率12 W/m・KのDOWSIL TC-3120サーマルゲルを発表

公開日 2026年05月29日 Lightwave アメリカ



## 概要

Dowは、AIワークロードや高速ネットワーク機器、光モジュール向けに設計された新型シリコンベース熱界面材料「DOWSIL TC-3120 Thermal Gel」を発表した。この新素材は、約12 W/m・Kという高い熱伝導率を誇り、オイルブリーディングとアウトガスの発生を最小限に抑えることで、光・電子部品の信頼性を向上させる。800G/1.6T光モジュールやデータセンターインフラの熱管理課題に対応し、過酷な環境下でも安定した性能を維持する。

## 詳細

### 主要成果

Dowは、AIワークロードや800G/1.6T光モジュールなどの高速ネットワーク機器向けに、熱伝導率12 W/m·Kを達成したシリコンベースの新型熱界面材料（TIM）「DOWSIL TC-3120 Thermal Gel」をリリースしました。この製品は、オイルフリーディングとアウトガスを最小限に抑えることで、高感度な光・電子部品の信頼性を飛躍的に向上させます。

### 技術・臨床詳細

DOWSIL TC-3120 Thermal Gelは、優れた熱伝導性（約12 W/m·K）を提供するだけでなく、低オイルフリーディングと低アウトガスという重要な特性を備えています。これは、フォトダイオードや光ファイバーといった光学部品の周辺で、光学グレードの清浄度を維持するために不可欠です。本製品は流動性のあるペースト状で供給され、塗布が容易であり、再加工性も備えています。さらに、高温、高湿、振動、繰り返される熱サイクルといった厳しい環境条件下でも性能を維持するように設計されています。このTIMは、接着性に優れ、大きなギャップも効果的に埋めることができ、加速硬化にも対応しているため、生産効率の向上にも寄与します。

### 背景・業界文脈

近年、AI技術の発展とデータトラフィックの爆発的な増加に伴い、データセンターや高速ネットワーク機器における発熱量は劇的に増大しています。これまでの熱管理材料では、十分に熱を効率的に放熱し、長期的な信頼性を確保することが困難になっていました。特に、光モジュールや高密度電子デバイスでは、熱による性能劣化や故障が深刻な課題となっており、優れた熱伝導性と同時に、デバイスを汚染しないクリーンな材料が求められています。DowのDOWSIL TC-3120は、これらの新たな要求に対応するために開発された革新的なソリューションです。

## 今後の展望

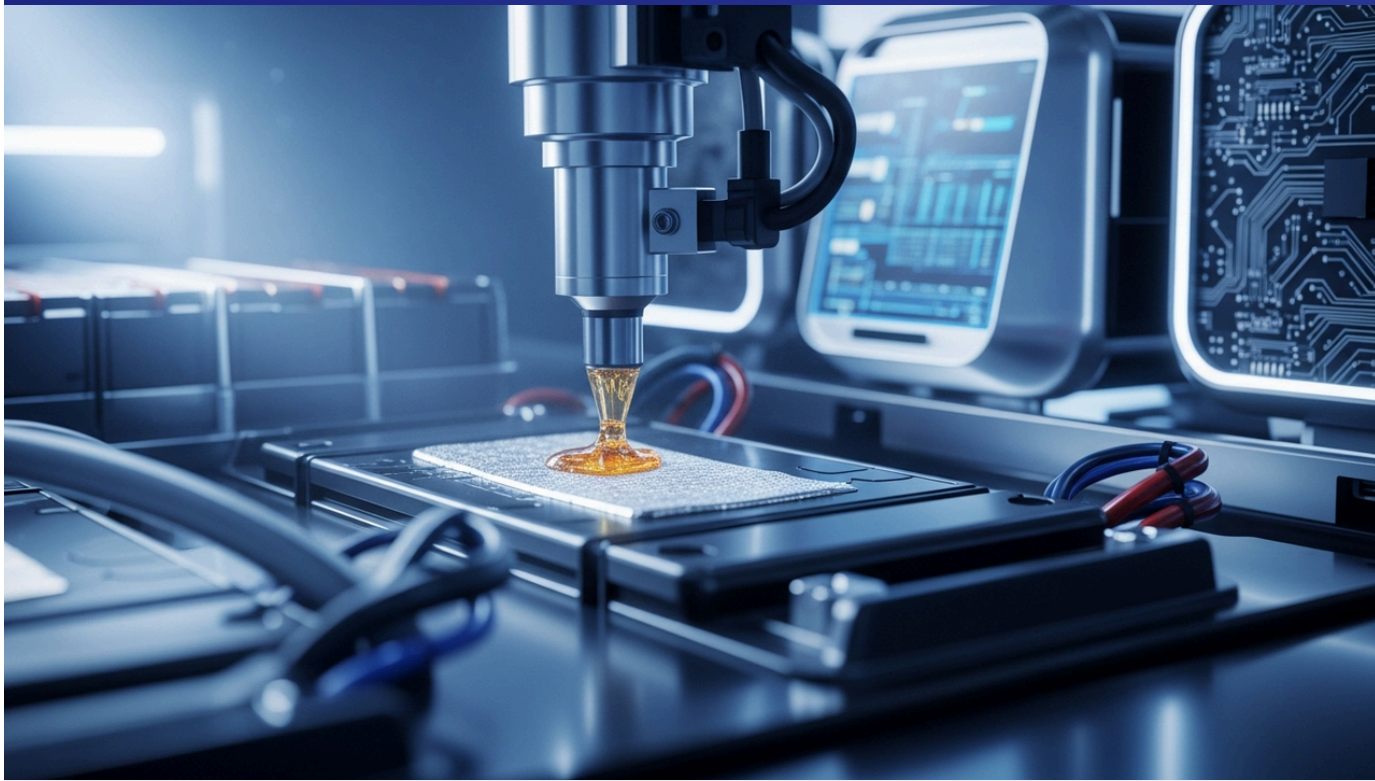
DOWSIL TC-3120 Thermal Gelの導入は、次世代のAIインフラ、データ通信、および高性能電子機器の設計と信頼性に大きな影響を与えるでしょう。この材料は、光通信モジュール、グラフィックプロセッシングユニット（GPU）、特定用途向け集積回路（ASIC）などの主要コンポーネントにおける熱管理の課題を解決し、より高性能で安定したシステム構築を可能にします。将来的には、この技術がさらに進化し、多様な高発熱アプリケーションでの採用が拡大することで、エレクトロニクス業界全体のイノベーションを加速させることが期待されます。

元記事: <https://thedatacenterengineer.com/news/dow-launches-12-w-m%C2%B7k-thermal-gel-for-800g-1-6t-optical-modules/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# PatSnap Eurekaレポート：EV・エネルギー貯蔵システムにおける熱暴走を防ぐための先進接着剤配合技術

公開日 2026年05月29日 PatSnap Eureka グローバル



## 概要

PatSnap Eurekaのレポートは、エネルギー貯蔵システムにおける熱暴走を防止・軽減するために、先進的な接着剤配合技術が不可欠であることを強調。研究は、熱伝導率の向上、温度安定性の改善、固有の難燃性を備えた材料の開発に焦点を当てている。これにより、熱イベント時の熱放散を促進し、構造的完全性を維持する。既存の接着剤は、熱伝導性と高温安定性が不足しているという課題を抱えている。

## 詳細

### 主要成果

PatSnap Eurekaの最新レポートは、電気自動車（EV）およびグリッドスケールエネルギー貯蔵システムにおける熱暴走現象を効果的に防止または軽減するための、革新的な接着剤配合技術の重要性を浮き彫りにしています。この研究は、熱伝導率の劇的な向上、高温での安定性の強化、そして材料自体に難燃性を持たせることに焦点を当てています。

### 技術・臨床詳細

先進接着剤の配合では、フィラーの最適化を通じて熱伝導率を向上させ、セルから冷却システムへの効率的な熱伝達を実現します。具体的には、セラミックフィラー（例: 窒化ホウ素、アルミナ）やグラファイトなどの高熱伝導性材料をポリマーマトリックスに均一に分散させることで、 $3 \text{ W/mK}$ を超える熱伝導率を達成することが目標です。また、熱暴走発生時の高温に耐えうる温度安定性が求められ、シリコンや特定の変性エポキシ樹脂が開発されています。さらに、ハロゲンフリーの難燃剤を配合することで、熱イベント時に炎の伝播を抑制し、安全性を高めます。現在の接着剤は、十分な熱伝導率や高温での安定性に課題があり、熱暴走の進行を加速させる可能性がありましたが、これらの新配合は、セル間の隔離、ガス排出経路の維持、および構造的完全性の維持に貢献します。

### 背景・業界文脈

EVおよび大規模エネルギー貯蔵システムの普及に伴い、バッテリーの安全性、特に熱暴走の防止が業界の最重要課題となっています。熱暴走は、バッテリー内部の異常発熱が連鎖的に広がり、最終的に火災や爆発を引き起こす現象です。これまでのアプローチでは、物理的なバリアや冷却システムに重点が置かれてきましたが、接着剤が果たす構造的および熱的役割の重要性が見直されています。接着剤は、セルを固定し、熱を伝達し、そして熱暴走時には保護層としての機能も期待されるため、その性能向上が強く求められています。

## 今後の展望

熱暴走防止のための先進接着剤配合は、バッテリー設計と安全規制に革命をもたらす可能性を秘めています。より優れた熱伝導性、温度安定性、および難燃性を備えた接着剤は、EVバッテリーパックのエネルギー密度を高めつつ、安全性を維持するための鍵となります。今後、これらの技術は、バッテリーの長寿命化、信頼性の向上、および製造コストの削減に貢献し、持続可能なエネルギーソリューションの普及を加速させるでしょう。研究開発は、さらに高性能な材料と、複雑なバッテリーアーキテクチャへの統合に向けたソリューションの開発に注力していくと見られます。

元記事: <https://eureka.patsnap.com/report-how-to-prevent-thermal-runaway-with-improved-adhesive-formulations>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Arkema、Battery Show Europe 2026で次世代EVバッテリー用材料ソリューションを発表

公開日 2026年06月01日 Arkema フランス



## 概要

Arkemaは、「The Battery Show Europe 2026」で、EVおよびエネルギー貯蔵システム用バッテリーパック向けに統合的な材料ソリューションを発表した。リチウムイオン電池の接着性・エネルギー密度を向上させる新型PVDFグレード「Kynar® HSV 1200」および「HSV 1400」や、シリコンベース負極・セパレーターコーティング用の「Incellion™」ファミリーが主要な革新技术。また、子会社Bostikからは、高速硬化UV樹脂、デボンド・オン・デマンド技術、ロバストな構造接着剤が紹介される。

## 詳細

### 主要成果

Arkemaは、「The Battery Show Europe 2026」において、電気自動車（EV）およびエネルギー貯蔵システム（ESS）のバッテリーパック向けに、接着性、エネルギー密度、安全性、リサイクル性を向上させる次世代材料ソリューションを包括的に発表しました。特に、新規PVDFグレードの導入と、バッテリー組み立てにおける高度な接着・シーリング技術が注目されます。

### 技術・臨床詳細

Arkemaは、リチウム鉄リン酸（LFP）バッテリーの接着性とエネルギー密度を向上させるための新型PVDFグレード「Kynar® HSV 1200」および「HSV 1400」を発表しました。これらのフッ素ポリマーは、正極バインダーとして優れた性能を発揮します。また、シリコンベース負極およびセパレーターコーティング向けの「Incellion™」製品ファミリーも進化しており、バッテリー性能とサイクル寿命の向上に貢献します。熱管理ソリューションとしては、「Zenimid™」ポリイミドが熱抵抗と絶縁耐力を提供し、「Kynar Flex® PVDF」はバッテリーセパレーターコーティングに寄与します。子会社であるBostikは、バッテリー組み立て用の先進的なシーリングおよび構造接着剤ソリューションを展示。これには、高速硬化UV樹脂、熱管理用のTIM（熱界面材料）、および将来的なバッテリーのリサイクル性を高める「デボンド・オン・デマンド」技術が含まれます。これらの技術は、バッテリーセルの統合、熱管理、および自動化された組み立ての課題に対処するために設計されています。

### 背景・業界文脈

EVおよびESS市場の急速な成長は、バッテリー材料に対してより高い性能、安全性、および持続可能性を要求しています。エネルギー密度の向上、熱暴走の防止、および製造プロセスの効率化は、業界の主要な課題です。また、EUバッテリー規則2023/1542などの新たな規制は、バッテリーのライフサイクル全体における安全性評価と堅牢な接着性を重視しており、リサイクル性の向上も喫緊の課題となっています。ArkemaとBostikの共同アプローチは、これらの複合的な要求に対応し、バッテリー設計の限界を押し広げ、持続可能なモビリティの未来をサポートすることを目指しています。

## 今後の展望

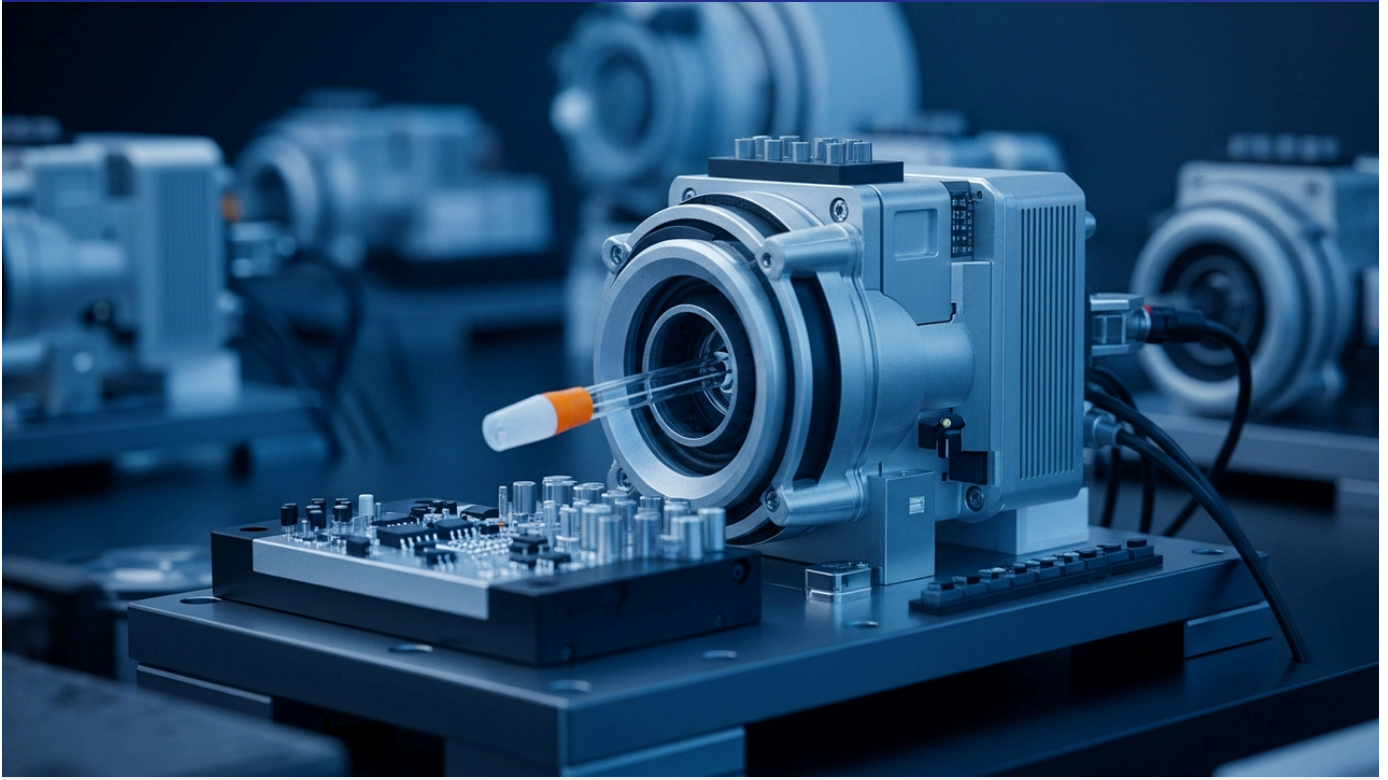
Arkemaの次世代バッテリー材料ソリューションは、EVおよびESSの性能と安全性を大幅に向上させる可能性を秘めています。特に、LFPバッテリーの進化を支えるPVDFグレードや、シリコン負極技術の実現を加速するIncellion™は、市場の主要な成長分野に直接貢献します。さらに、デボンド・オン・デマンド技術は、将来のバッテリーリサイクルプロセスを簡素化し、サーキュラーエコノミーへの移行を促進する上で重要な役割を果たすでしょう。これらの革新は、バッテリー技術全体の進歩を牽引し、持続可能なエネルギー社会の実現に不可欠な基盤を提供するものと期待されます。

元記事: <https://www.arkema.com/global/en/media/newslist/news/global/products/2026/20260601-battery-show-europe/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# QinanX New Material、電子・光学・医療分野向けに高速硬化・高透明・低収縮UV硬化型接着剤を提供

公開日 日付不明 QinanX New Material 中国



## 概要

QinanX New Materialは、UV光照射により数秒で硬化するUV硬化型接着剤を、電子部品、光学レンズ、ディスプレイ、医療機器、ガラス/プラスチック接着などの幅広い用途に提供している。これらの接着剤は、優れた接着強度、高透明性、耐薬品性、耐熱性、低収縮性を特徴とする。RoHSおよびREACHなどの環境認証に適合し、一部の配合では再加工性も提供する。

## 詳細

### 主要成果

QinanX New Materialは、電子部品、光学レンズ、ディスプレイ、医療機器、ガラス/プラスチック接着など、多様な産業用途向けに、高速硬化、高透明、低収縮特性を持つ高性能UV硬化型接着剤を提供しています。この製品群は、従来の接着方法と比較して、生産効率と製品信頼性を大幅に向上させます。

### 技術・臨床詳細

QinanXのUV硬化型接着剤は、特定の波長の紫外線（UV）に数秒間さらすだけで、迅速に硬化します。この高速硬化特性は、生産サイクルタイムを短縮し、製造スループットを向上させる上で極めて重要です。これらの接着剤は、ガラス、プラスチック、金属、セラミックなど、さまざまな基材に対して強力な接着強度を発揮し、高い信頼性を確保します。特に光学アプリケーションでは、99%以上の高い光透過率と低イエローイング特性により、優れた光学性能を維持します。また、硬化後の収縮率が低いため、精密な部品の寸法安定性を保ち、内部応力による変形や故障のリスクを軽減します。さらに、これらの接着剤は優れた耐薬品性と耐熱性を備えており、厳しい環境条件下でも安定した性能を維持します。環境規制にも対応し、RoHS（特定有害物質使用制限）指令やREACH（化学物質登録・評価・認可・制限）規則に準拠しており、溶剤フリーであるため、作業者の安全性と環境負荷の低減にも貢献します。一部の特殊な配合では、必要に応じて部品を再加工できるリワーク性も提供します。

### 背景・業界文脈

現代の電子機器、医療機器、および光学産業では、小型化、高精度化、および高速生産が不可欠です。従来の熱硬化型や溶剤系接着剤は、硬化に時間がかかったり、有害なVOC（揮発性有機化合物）を排出したりするなど、これらの要求に対応しきれない課題がありました。UV硬化型接着剤は、その即時硬化能力と環境適合性から、これらの産業における接着技術の主要な選択肢として台頭しています。QinanX New Materialは、この市場のニーズに応えるべく、革新的なUV硬化技術を開発し、多様な高機能接着ソリューションを提供しています。

## 今後の展望

QinanX New Materialが提供するUV硬化型接着剤は、高性能化が進む電子・光学・医療分野において、さらなるイノベーションを推進する基盤技術となるでしょう。特に、5G通信デバイス、AR/VRヘッドセット、ウェアラブル医療機器など、小型で高精度な部品が求められる次世代製品での応用が期待されます。同社は、継続的な研究開発を通じて、特定の用途要件に対応したカスタム配合の提供や、さらに高速かつエネルギー効率の高い硬化システムの開発に注力していくことで、市場での競争力を強化し、成長を加速させていく見込みです。

元記事: <https://qinanxgroup.com/polyacrylate-adhesive/uv-curable-adhesive/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# PatSnap Eurekaレポート：先進パッケージングとフレキシブルディスプレイにおけるセル剥離リスクを低減する接着剤カバレッジの最適化

公開日 2026年05月29日 PatSnap Eureka グローバル



## 概要

PatSnap Eurekaのレポートは、半導体パッケージングおよびディスプレイ技術分野において、先進パッケージングやフレキシブルディスプレイでのセル剥離を防ぐための接着剤技術とカバレッジ最適化の重要性を指摘している。研究は、流動特性の向上、基材適合性の強化、環境抵抗性を持つ接着剤の開発に焦点を当てており、しばしば導電性フィラーや熱界面材料が統合される。これにより、薄型・高密度化が進むデバイスの信頼性向上に貢献する。

## 詳細

### 主要成果

PatSnap Eurekaの最新レポートは、半導体パッケージングおよびディスプレイ技術分野におけるセル剥離リスクを低減するために、接着剤技術の向上とカバレッジの最適化が不可欠であることを強調しています。特に、先進パッケージングやフレキシブルディスプレイの薄型化・高密度化が進む中で、接着剤の性能がデバイスの長期信頼性を左右する重要な要素となっています。

### 技術・臨床詳細

研究は、接着剤の流動特性を向上させることで、微細な隙間や複雑な構造を持つ表面にも均一に塗布され、気泡（ボイド）の発生を最小限に抑えることに焦点を当てています。これにより、接着界面の完全性が確保され、剥離のリスクが低減されます。また、異なる基材間での接着性を最大化するための基材適合性の強化が図られており、特にポリイミドやガラス、金属などの多様な材料が用いられる先進パッケージングにおいて重要です。さらに、高温多湿、熱サイクル、機械的応力などの厳しい環境条件下でも接着性能を維持するための環境抵抗性（耐熱性、耐湿性など）も開発の鍵となっています。多くの新しい接着剤配合では、効率的な熱放散と電気的性能向上のため、導電性フィラー（例: 銀、カーボンナノチューブ）や熱界面材料（TIM）が統合されています。これにより、接着剤は単なる固定材としてだけでなく、機能性材料としての役割も果たします。

### 背景・業界文脈

半導体業界では、ムーアの法則の限界に近づき、より高密度で高性能なチップを実現するために、ファンアウト・ウェハーレベルパッケージング（FOWLP）や2.5D/3Dパッケージングなどの先進パッケージング技術への移行が進んでいます。同時に、フレキシブルディスプレイやウェアラブルデバイスの普及により、薄型で曲げに強いディスプレイが求められています。これらの技術は、従来のパッケージングよりも複雑な構造と多様な材料の組み合わせを必要とし、接着剤にはかつてないほどの信頼性と性能が求められています。セル剥離は、デバイスの機能不全や寿命短縮に直結するため、その防止は極めて重要な課題です。

## 今後の展望

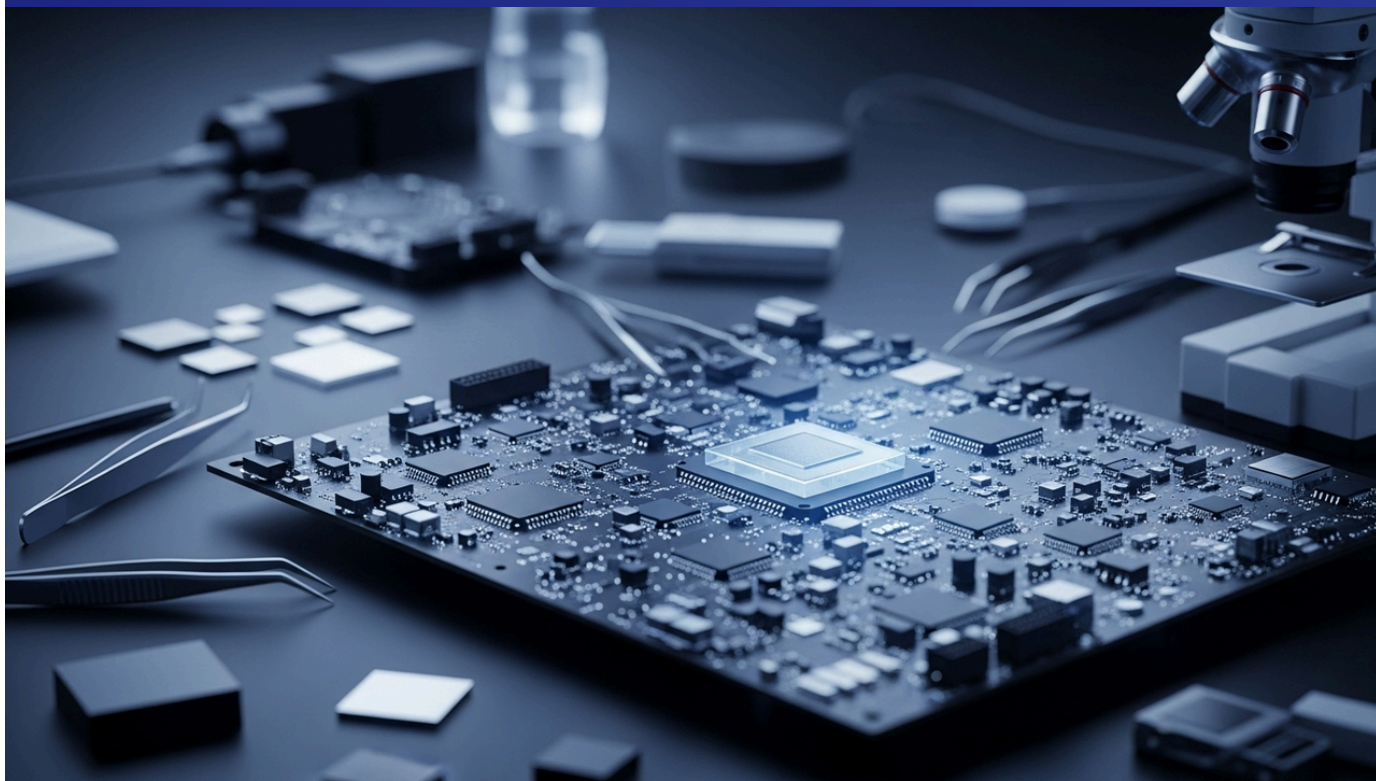
接着剤技術とカバレッジ最適化の進展は、先進パッケージングおよびフレキシブルディスプレイの次世代製品開発に不可欠な要素となります。これにより、より小型で高性能、かつ信頼性の高い電子デバイスの実現が可能となり、AIチップ、高速コンピューティング、そして折りたたみスマートフォンなどのイノベーションが加速されるでしょう。今後、接着剤メーカーとデバイスメーカーは、材料科学とプロセス技術の連携をさらに強化し、極限環境下でも剥離しない、より持続可能で高性能な接着ソリューションの開発に注力していくと予想されます。

元記事: <https://eureka.patsnap.com/report-optimizing-adhesive-coverage-to-reduce-cell-delamination-risks>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# T-Global Technology、高信頼性電子機器向けに低アウトガス熱伝導パッド「TG-AD30D」を発売

公開日 2026年06月03日 T-Global Technology 台湾



## 概要

T-Global Technologyは、高信頼性電子機器および高感度環境向けに設計された先進的な低アウトガス熱伝導パッド「TG-AD30D」を発表した。このハイブリッド熱伝導パッドは、熱伝導率 $3.0 \text{ W/m}\cdot\text{K}$ 、低熱インピーダンス、優れた電気絶縁性を特徴とする。最小限のアウトガスで効率的な熱伝達が求められる高出力アプリケーション向けに最適化されており、航空宇宙、AIインフラ、データ通信、車載エレクトロニクスなどの分野のATSM E595規格に適合する。

## 詳細

### 主要成果

T-Global Technologyは、高信頼性電子機器や高感度環境向けに、熱伝導率3.0 W/m·K、低アウトガス特性を持つ先進的な熱伝導パッド「TG-AD30D」を発売しました。この製品は、効率的な熱伝達と最小限の汚染を両立させることで、精密電子部品の長期的な性能と信頼性を向上させます。

### 技術・臨床詳細

TG-AD30Dは、ハイブリッド材料技術を駆使して開発された熱伝導パッドであり、3.0 W/m·Kの安定した熱伝導率と低い熱インピーダンスを特長としています。これにより、発熱源からヒートシンクへの熱を効率的に移動させ、部品の過熱を防ぎます。特に重要なのは、その「低アウトガス」特性です。ATSM E595規格に準拠しており、揮発性成分の放出が極めて少ないため、密閉された環境や高感度な光学・電子部品の周辺で、結露や汚染による故障リスクを大幅に低減します。さらに、優れた電気絶縁性も備えているため、複雑な電子回路内での短絡を防ぎ、システムの安全性を高めます。柔軟性があり、様々な形状の表面に容易に適合するため、多様なアプリケーションでの実装が可能です。

### 背景・業界文脈

AI、データ通信、車載エレクトロニクスといった高性能化が進む分野では、デバイスの小型化と同時に発生する熱量の増大が深刻な課題となっています。特に宇宙航空分野や精密機器では、アウトガスが光学レンズやセンサーを汚染し、性能低下や故障を引き起こすリスクがあるため、低アウトガス材料が必須です。従来の熱伝導材料は、熱伝導率は優れていてもアウトガス特性が不十分であるか、またはその逆の課題を抱えていました。TG-AD30Dは、これらの課題を解決し、高性能と高信頼性を両立させるために開発されました。

## 今後の展望

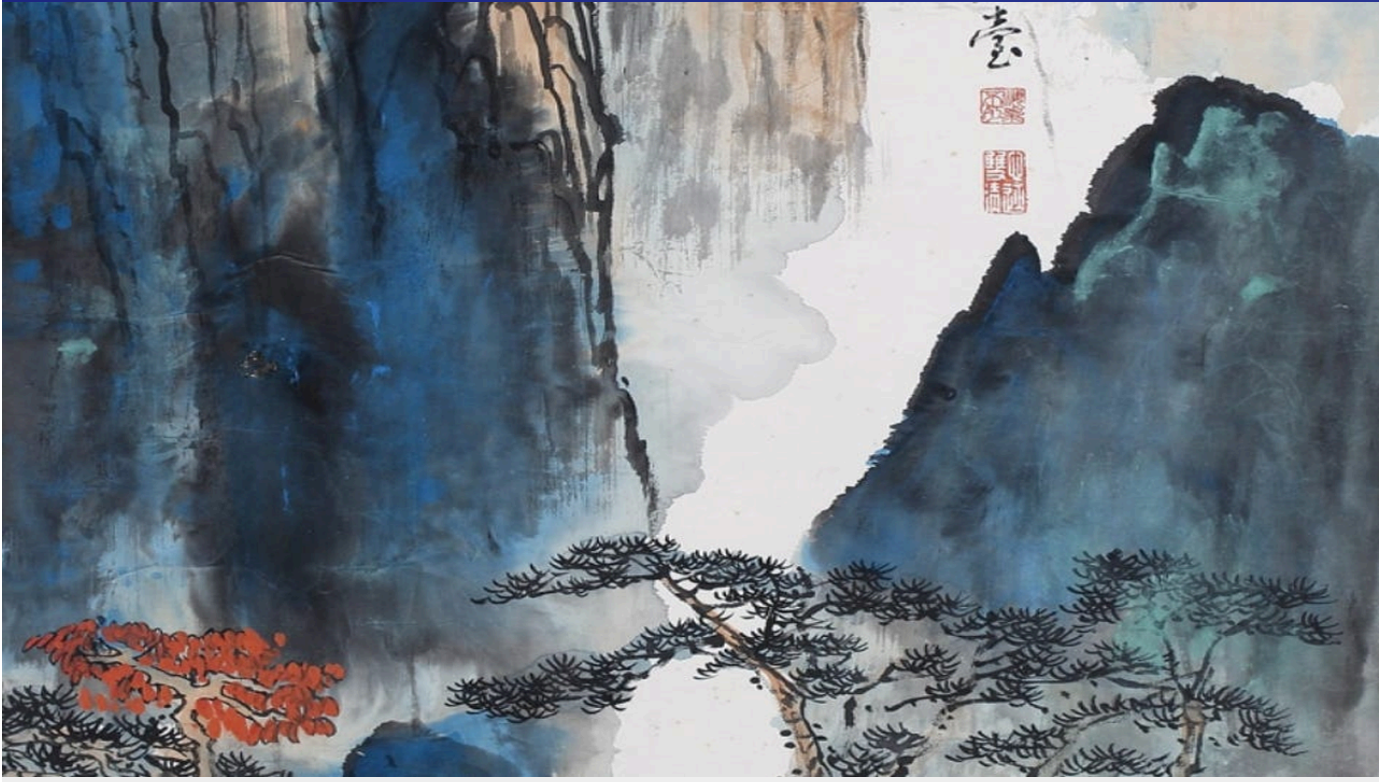
T-Global TechnologyのTG-AD30Dは、次世代の航空宇宙システム、AIインフラ、データセンター、および高信頼性車載エレクトロニクスにおける熱管理ソリューションの標準を確立する可能性を秘めています。その低アウトガス特性は、特にクリーンルーム環境や宇宙空間での使用が想定される精密機器において、不可欠な要素となるでしょう。T-Global Technologyは、この製品を通じて、高発熱かつ高感度な電子機器の進化を支え、より安全で高性能なシステムの実現に貢献していくことが期待されます。今後、さらなる高熱伝導率化と低アウトガス化に向けた研究開発が進むでしょう。

元記事: <https://www.tglobaltechnology.com/2026/06/03/low-outgassing-thermal-pad-launched/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# SemiMediaレポート：中国がAI・HPC向け先進パッケージング材料で世界的キャッチアップを加速

公開日 2026年06月05日 SemiMedia 中国



## 概要

SemiMediaのレポートによると、中国はAIチップや高性能コンピューティング（HPC）の需要に牽引され、先進パッケージング材料分野で世界的なキャッチアップを加速している。高機能樹脂、誘電体材料、アンダーフィル、エポキシモールドニングコンパウンド、熱界面材料の開発に注力。特にチップレットや2.5D/3Dパッケージング技術のニーズに応えるべく、フォトリジストポリイミドやCMP材料などでブレークスルーを目指している。

## 詳細

### 主要成果

SemiMediaの最新レポート「中国の半導体材料キャッチアップの内幕」によると、中国はAIチップと高性能コンピューティング（HPC）の爆発的な需要に牽引され、先進半導体パッケージング材料分野で世界的なキャッチアップを加速しています。特に、高機能樹脂、誘電体材料、アンダーフィル、エポキシモールドディングコンパウンド、および熱界面材料（TIM）の開発に注力しています。

### 技術・臨床詳細

中国企業は、チップレット技術や2.5D/3Dパッケージングといった次世代の先進パッケージングアーキテクチャに対応するため、材料技術の国産化と性能向上に積極的に取り組んでいます。具体的には、より薄く、より高密度なパッケージングを可能にする高性能樹脂、信号整合性を保つための低誘電率材料、ダイと基板の間の応力を緩和し信頼性を高めるアンダーフィル材料、デバイスを物理的に保護するエポキシモールドディングコンパウンド（EMC）、そして効率的な熱管理を実現するTIMの革新が進められています。これらの材料は、AIチップやHPCデバイスが直面する高温動作、高電力密度、および微細化の課題に対応するために不可欠です。フォトレジストポリイミドやCMP（化学機械研磨）材料など、半導体製造プロセスの鍵となる分野でのブレークスルーを目指しており、一部の中国企業はすでに国際的な基準に匹敵する、あるいはそれを上回る製品を提供し始めています。

### 背景・業界文脈

先進パッケージングは、半導体業界においてムーアの法則の限界を超えるための重要な戦略となっています。特に、AIやHPCの進化は、チップ設計の複雑性を増し、従来のパッケージング技術では対応しきれない性能と信頼性の要求を生み出しています。中国は、半導体産業全体の自給自足を目指す国家戦略の下、特に材料分野でのボトルネック解消に力を入れています。これにより、グローバルサプライチェーンにおける材料供給の安定化と、国内半導体エコシステムの強化を図っています。

## 今後の展望

中国の先進パッケージング材料分野における急速な進歩は、世界の半導体サプライチェーンに大きな影響を与える可能性があります。国産材料の供給能力と技術レベルの向上は、国際市場における競争環境を変化させ、多国籍企業にとっても新たな協業や競争戦略を検討するきっかけとなるでしょう。今後、中国はこれらの材料を基盤として、AIチップやHPCデバイスのさらなる高性能化と量産化を推進し、世界の技術革新においてより重要な役割を担っていくことが期待されます。また、持続可能な材料開発や環境規制への対応も、今後の研究開発の重要な方向性となるでしょう。

元記事: <https://leonliao.substack.com/p/inside-chinas-semiconductor-materials>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Beckers Group、インドに再生可能樹脂新工場を開設し持続可能なコーティング材料供給を強化

公開日 2026年06月05日 Coatings World インド



## 概要

Beckers Groupは、合併会社Berger-Becker Coatingsを通じて、インドのナーグプルに再生可能樹脂の新しい製造工場を2026年5月28日に開設した。この工場では、再生可能およびリサイクル含有ポリエステル樹脂を生産し、コーティング、接着剤、シーラント、エラストマーなどの産業市場に供給する。サプライチェーンのレジリエンスを高め、持続可能なコーティング技術の促進を目指す。

## 詳細

### 主要成果

Beckers Groupは、合併会社Berger-Becker Coatingsを通じて、インドのナーグプルに再生可能樹脂の製造工場を新たに開設しました。この工場は、持続可能なコーティング技術への需要増加に対応するため、再生可能およびリサイクル含有ポリエステル樹脂を生産し、広範な産業市場に供給します。

### 技術・臨床詳細

新工場は、2026年5月28日に稼働を開始し、特にコーティング、接着剤、シーラント、エラストマーといった産業分野向けの高性能ポリエステル樹脂の製造に特化しています。これらの樹脂は、バイオベース原料やリサイクル原料を積極的に活用しており、従来の石油由来樹脂と比較して、製品の環境フットプリントを大幅に削減します。製造プロセスは、最新の技術と厳しい品質管理基準に基づいており、高い製品一貫性と信頼性を保証します。生産される樹脂は、優れた耐久性、耐候性、および接着特性を備え、様々な最終製品の性能向上に貢献することが期待されます。

### 背景・業界文脈

世界的に環境意識が高まる中、製造業界では持続可能な材料への移行が加速しています。特に、塗料、接着剤、シーラントなどの化学品分野では、再生可能資源の活用やリサイクル含有率の向上が、企業の競争力とブランド価値を高める重要な要素となっています。Beckers Groupは、この動きを背景に、アジア市場、特にインドにおける持続可能な材料の需要増大に対応するため、この戦略的な投資を行いました。インドは急速に成長している市場であり、現地の生産拠点を設けることで、サプライチェーンの柔軟性を高め、地域特有のニーズに迅速に応えることが可能になります。

## 今後の展望

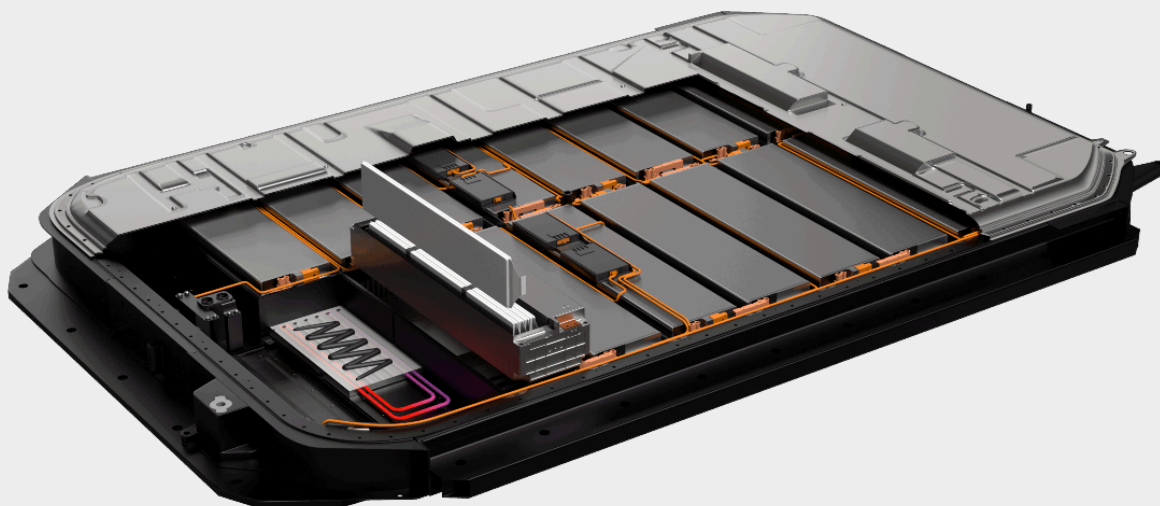
インドの新工場の開設は、Beckers Groupの持続可能性へのコミットメントと、グローバルな市場でのリーダーシップを強化する重要なステップです。この工場から供給される再生可能樹脂は、より環境に優しい製品の開発を可能にし、産業界全体の持続可能な変革を推進するでしょう。同社は、今後も持続可能なソリューションの研究開発に投資し、顧客が環境目標を達成できるよう支援することで、循環型経済の構築に貢献していくことを目指します。また、アジア市場におけるさらなる事業拡大も視野に入れていきます。

元記事: <https://www.coatingsworld.com/breaking-news/beckers-group-through-its-jv-berger-becker-establishes-new-renewable-resin-manufacturing-plant-in-india/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Wacker Chemie、EVバッテリー安全性を高める熱暴走時セラミック化バリア「ELASTOSIL® CM」シリーズを発表

公開日 日付不明 Wacker Chemie AG ドイツ



## 概要

Wacker Chemie AGは、The Battery Show Europe 2026で、EVバッテリー安全性を向上させるシリコン技術「ELASTOSIL® CM」シリーズを発表する。このシリーズは、熱暴走時ストレス下でセラミック化して断熱層を形成する柔軟で薄く、高安定なヒートシールドを提供する。バッテリーの安全性と熱管理を強化し、軽量化に貢献する。

## 詳細

### 主要成果

Wacker Chemie AGは、「The Battery Show Europe 2026」にて、電気自動車（EV）バッテリーの安全性を飛躍的に高める革新的なシリコン技術「ELASTOSIL® CM」シリーズを発表します。このシリーズは、熱暴走発生時に熱、炎、粒子の伝播を制御する柔軟な熱バリアとして機能し、バッテリーの安全性を向上させながら軽量化にも貢献します。

### 技術・臨床詳細

ELASTOSIL® CMシリーズは、柔軟で薄く、非常に安定したヒートシールドを提供するシリコンエラストマーです。この材料の最も画期的な特徴は、バッテリーセル内で熱暴走が発生し、極端な熱ストレスに晒された際に「セラミック化」する能力です。セラミック化プロセスによって、シリコンは硬質で熱的・電氣的に絶縁性の高い層を形成し、隣接するセルへの熱と炎の伝播を効果的に阻止します。これにより、バッテリーパック全体への熱暴走の拡散を防ぎ、乗員の安全を確保する上で極めて重要な役割を果たします。従来の剛性バリアと比較して、ELASTOSIL® CMシリーズは柔軟性があるため、バッテリーパック内の設計自由度が高まり、システム全体の重量削減にも寄与します。また、ギャップフィラーやバッテリー組み立て、自動車用パワーエレクトロニクス向けの熱界面材料（TIM）など、e-モビリティ用途向けの他のシリコン製品も展示されます。

### 背景・業界文脈

電気自動車の普及が加速する中、バッテリーの安全性は消費者と規制当局の双方から最も重視される要素の一つです。特に熱暴走は、EVの安全性における最大の懸念事項であり、その防止と伝播抑制はバッテリーメーカーにとって喫緊の課題です。EUバッテリー規則2023/1542などの新たな規制は、バッテリーのライフサイクル全体における安全性評価と堅牢な接着性能を重視しており、熱暴走への対策は必須となっています。Wacker Chemie AGは、長年にわたるシリコン技術の専門知識を活かし、この業界課題に対し、材料科学に基づく革新的なソリューションを提供します。

## 今後の展望

ELASTOSIL® CMシリーズの導入は、EVバッテリーの熱管理と安全性設計に新たな標準を確立する可能性を秘めています。この技術は、バッテリーのエネルギー密度を向上させつつ、高い安全性を確保するための重要な要素となるでしょう。セラミック化バリアは、将来的にさらに多くのEVモデルやエネルギー貯蔵システムに採用されることで、持続可能なモビリティの普及に貢献すると期待されます。Wacker Chemie AGは、e-モビリティ分野におけるリーダーシップを強化し、バッテリーの性能、安全性、および持続可能性を向上させる革新的なシリコンソリューションを継続的に開発していく方針です。

---

元記事: <https://www.wacker.com/cms/en-us/products/insights/batteryshow.html>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# tesa、「tesafilm® PAPER」導入で90年の歴史を祝い持続可能なテープ生産を拡大

公開日 2026年05月28日 tesa ドイツ



## 概要

tesaは、主力製品である「tesafilm®」の誕生90周年を祝い、紙製代替品「tesafilm® PAPER」の導入を含む製品の進化を強調している。同社は、より持続可能な生産を目指して工場拡張に投資し、溶剤フリーでエネルギー効率の高いプロセスを採用。現代のインフラと持続可能な製品ソリューションを統合することで、環境負荷の低減と製品提供の強化を図る。

## 詳細

### 主要成果

tesaは、家庭やオフィスで広く愛用されている主力製品「tesafilm®」の誕生90周年を迎え、この歴史的節目を祝っています。同社は、この90年間で製品がどのように進化してきたかを強調し、特に最近導入された紙製代替品「tesafilm® PAPER」に焦点を当て、持続可能な製品開発へのコミットメントを示しています。

### 技術・臨床詳細

tesafilm®は、その登場以来、透明性、耐久性、そして信頼性の高い接着力で知られています。長年にわたり、様々な用途に対応するために多くの改良が加えられてきました。最近発売されたtesafilm® PAPERは、従来のプラスチック製テープに代わる環境に優しい選択肢であり、紙ベースのキャリア素材と水性接着剤を使用することで、プラスチック消費量を削減し、リサイクル性を向上させています。同社は、より持続可能な生産を実現するため、工場拡張に大規模な投資を行っており、溶剤フリーの接着剤生産プロセスやエネルギー効率の高い製造技術を積極的に導入しています。これにより、VOC（揮発性有機化合物）排出量を削減し、生産工程における環境負荷を最小限に抑えています。

### 背景・業界文脈

今日の消費者は、製品の機能性だけでなく、その環境への影響についても高い意識を持つようになってきました。持続可能性は、もはや単なる流行ではなく、企業が競争力を維持し、社会から信頼を得るための必須条件となっています。テープ業界も例外ではなく、環境に配慮した製品や製造プロセスの開発が求められています。tesaは、長年の歴史を通じて培ってきた技術力と、環境問題への責任を組み合わせることで、この新しい市場の要求に応えようとしています。90周年という節目は、同社が過去の成功を祝うだけでなく、未来に向けた革新と持続可能性への転換を示す機会となっています。

## 今後の展望

tesaの持続可能な生産と製品開発への取り組みは、粘着テープ業界における今後の方向性を示唆しています。tesafilm® PAPERのような製品の導入は、消費者だけでなく、企業顧客にも環境に配慮した選択肢を提供し、市場のグリーン化を加速させるでしょう。同社は、今後も研究開発に投資を続け、さらに革新的なバイオベース材料やリサイクル材料を活用した製品を投入することで、環境負荷の低いソリューションを提供していく方針です。これにより、tesaは、高品質な製品と持続可能性を両立させることで、グローバル市場でのリーダーシップを維持し、循環型経済の実現に貢献していくことが期待されます。

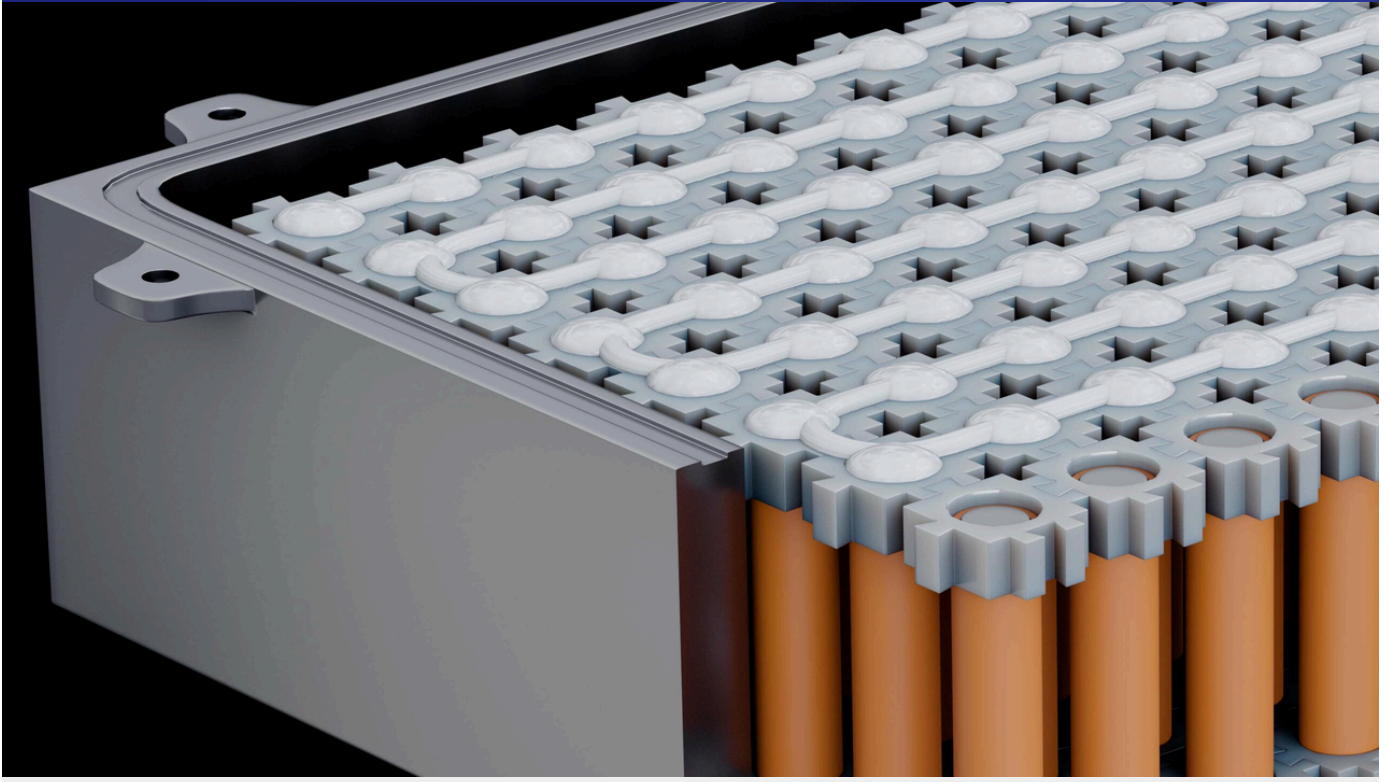
---

元記事: <https://www.tesa.com/en/about-tesa/press-insights/press/for-90-years-in-a-main-role-tesafilm-celebrates-a-milestone-anniversary.html>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Parker Lord、EV用円筒形バッテリーの熱暴走伝播を抑制する低コスト液状材料「CoolTherm SF-1000」を開発

公開日 2026年06月03日 E-Mobility Engineering アメリカ



## 概要

Parker Hannifinは、EV用円筒形リチウムイオンバッテリーパックの熱暴走伝播を軽減する液状ディスペンシングソリューション「CoolTherm SF-1000」を発表した。この非膨張性材料は、火災ブランケットとして機能し、打ち抜き加工されたマイカシートの代替品となる。安全性やプロセス効率を損なうことなく、より低コストでバッテリーの熱暴走対策を可能にする。

## 詳細

### 主要成果

Parker Hannifinは、電気自動車（EV）用円筒形リチウムイオンバッテリーパックの安全性を大幅に向上させる新素材「CoolTherm SF-1000」を開発しました。この液状ディスペンシングソリューションは、熱暴走の伝播を効果的に抑制する非膨張性シリコーンフォームであり、製造プロセスを簡素化し、システムコストを削減しながら安全性強化を実現します。

### 技術・臨床詳細

CoolTherm SF-1000は、バッテリーセル間で発生した熱暴走が隣接セルに広がるのを防ぐ「火災ブランケット」として機能します。この材料は、液状で塗布された後、硬化して堅牢なバリア層を形成し、熱的絶縁と物理的保護を同時に提供します。従来の熱暴走対策では、打ち抜き加工されたマイカシートなどの rigid（剛性）なバリアが用いられることが多かったですが、CoolTherm SF-1000はこれを液状で置き換えることを可能にします。これにより、製造工程での手作業が減り、自動化された精密なディスペンシングが可能となるため、部品点数の削減、複雑性の低減、そして生産効率の向上が期待されます。非膨張性であるため、熱暴走時に余計な体積膨張を起こさず、バッテリーパックの設計安定性を維持します。また、ParkerはCoolTherm SF-1000を、バッテリー安全性、熱管理、および組み立て用の高度な材料ポートフォリオの一部として位置づけています。

### 背景・業界文脈

EV市場の急速な成長に伴い、バッテリーパックの安全性は依然として最大の課題の一つです。特に熱暴走の伝播は、重大な事故につながる可能性があり、その防止はメーカーにとって最優先事項です。EUバッテリー規則2023/1542などの規制強化も、バッテリーメーカーに熱暴走対策の強化を求めています。従来の対策は効果的であるものの、多くの場合、複雑な設計や高い製造コストを伴いました。CoolTherm SF-1000は、これらの課題に対応し、性能とコスト効率のバランスを取りながら、バッテリーの安全性を高めるための革新的なアプローチを提供します。

## 今後の展望

CoolTherm SF-1000の導入は、EVバッテリーの設計と製造プロセスに革命をもたらす可能性を秘めています。この材料は、円筒形セルバッテリーパックだけでなく、他のセル形式（パウチ型、角形など）への応用も期待され、EV全体の安全性向上に貢献するでしょう。将来的には、より高エネルギー密度かつ安全なバッテリーパックの開発を可能にし、電気自動車のさらなる普及を後押しすると考えられます。Parker Hannifinは、この革新的な技術を通じて、e-モビリティ市場におけるリーダーシップを強化し、持続可能で安全な交通システムの構築に貢献することを目指しています。

---

元記事: <https://www.emobility-engineering.com/parker-cooltherm-ev-expo-stuttgart/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Tecman、バッテリーエネルギー貯蔵システムの熱暴走伝播を防ぐ抗熱伝播（ATP）パッドを発表

公開日 2026年06月03日 Energy-Storage.news イギリス



## 概要

Tecmanは、バッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）における熱暴走伝播を防ぐためのセルバリアとして、フレーム付きおよび封止型抗熱伝播（ATP）パッドを開発した。これらのパッドは、熱絶縁材料と物理的なスペーサー層を組み合わせしており、セルの膨張を許容しつつ、セル間の熱伝達を防止する。組み立て時には接着テープでセルに固定される。

## 詳細

### 主要成果

Tecmanは、バッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）の安全性を飛躍的に高めるため、熱暴走伝播を効果的に阻止する新しい抗熱伝播（ATP）パッドを開発しました。このパッドは、フレーム付きおよび封止型として提供され、セルの膨張を許容しつつ、隣接するセルへの熱伝達を遮断することで、バッテリー火災のリスクを大幅に低減します。

### 技術・臨床詳細

TecmanのATPパッドは、高度な熱絶縁材料と、物理的なスペーサー層を組み合わせた多層構造を採用しています。熱絶縁材料は、優れた断熱性を提供し、熱暴走が発生したセルの高温エネルギーが隣接セルに伝わるのを遅延させたり、完全に阻止したりする役割を果たします。物理スペーサー層は、熱暴走時に発生するセルの膨張を適切に吸収し、機械的応力によるパッケージの損傷を防ぎます。これにより、セル間の構造的完全性が維持され、ガス排出経路が確保されます。パッドは、製造プロセス中に接着テープを用いてセルに確実に固定され、安定した性能を発揮します。この設計により、セル単体の故障がシステム全体への影響に拡大する連鎖反応を効果的に防ぎます。

### 背景・業界文脈

バッテリーエネルギー貯蔵システムは、再生可能エネルギーの統合とグリッド安定化に不可欠な技術ですが、熱暴走のリスクは導入拡大における主要な懸念事項の一つです。大規模なBESS施設では、一つのセルの熱暴走が連鎖的に広がり、甚大な火災事故につながる可能性があります。このため、熱暴走伝播の防止は、業界標準および規制の観点から喫緊の課題とされています。TecmanのATPパッドは、この課題に対する費用対効果の高い実用的なソリューションを提供し、BESSの安全運用をサポートします。

## 今後の展望

TecmanのATPパッドは、BESSの安全性向上に不可欠な技術として、その導入が急速に拡大すると予測されます。この技術は、グリッドスケールの大規模貯蔵システムから、商業用および住宅用の小規模システムまで、幅広いBESSアプリケーションでの採用が期待されます。将来的には、さらなる材料科学の進歩により、より薄く、軽量で、かつ高性能なATPパッドが開発される可能性があります。これにより、BESSの設計柔軟性とエネルギー密度が向上し、再生可能エネルギーの普及とグリッドの近代化をさらに加速させるでしょう。Tecmanは、この革新を通じて、安全で持続可能なエネルギー未来の実現に貢献することを目指しています。

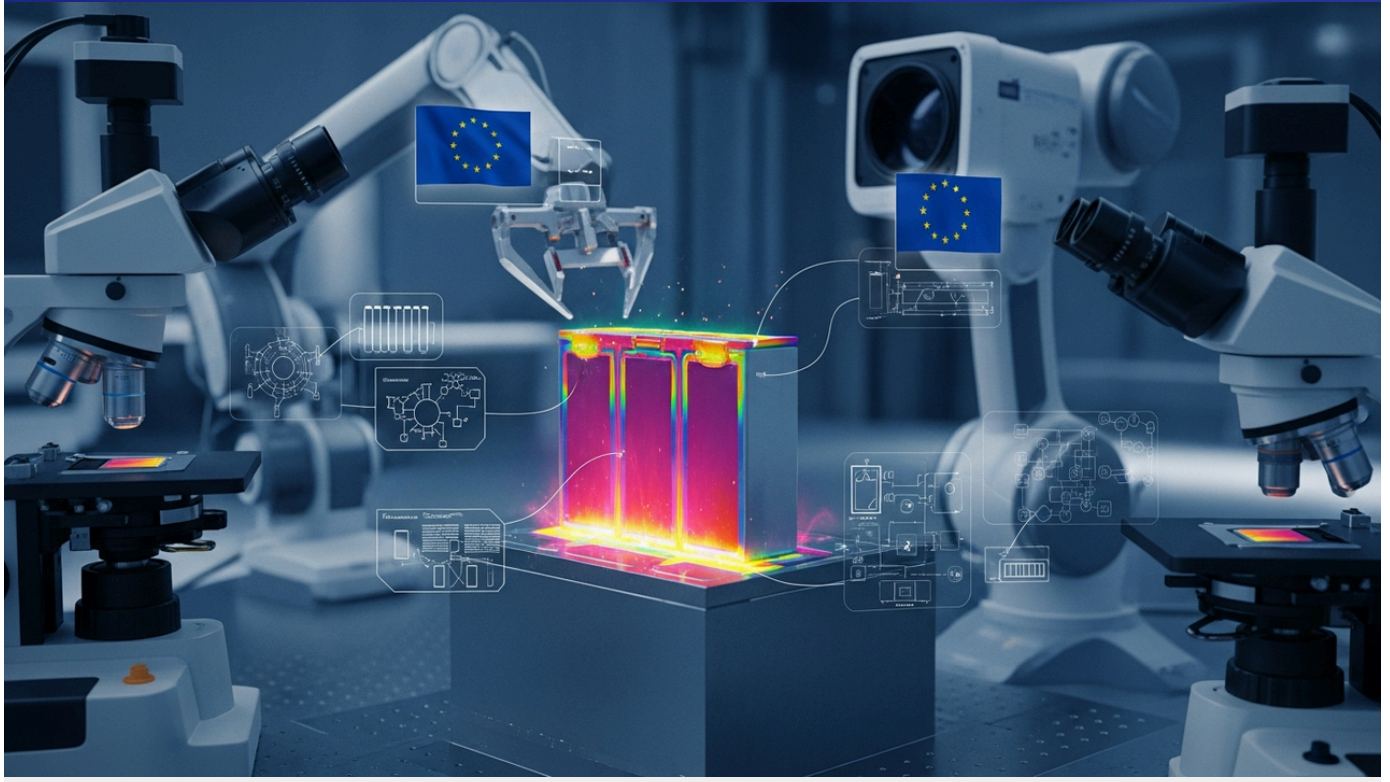
---

元記事: <https://www.energy-storage.news/third-party-technologies-for-preventing-or-dealing-with-thermal-runaway-in-bess-assets/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# PatSnap Eurekaレポート：熱応力がバッテリー接着剤の経時的強度に与える影響とEU新規制の強化

公開日 2026年05月29日 PatSnap Eureka グローバル



## 概要

PatSnap Eurekaのレポートは、EVおよびグリッドスケールエネルギー貯蔵システムにおいて、熱応力がバッテリー接着剤の剥離や結合不良に与える影響の理解が重要であると指摘している。研究は、熱サイクルや潜在的な熱暴走時にも接着強度と機械的特性を維持できる高耐熱性接着剤システムの開発に焦点を当てている。EUのバッテリー規則2023/1542などの新規制が、ライフサイクル安全性評価と堅牢な接着性能の重要性を強調している。

## 詳細

### 主要成果

PatSnap Eurekaの最新レポートは、電気自動車（EV）およびグリッドスケールエネルギー貯蔵システムにおけるバッテリー接着剤の信頼性を確保するために、熱応力が接着剤の強度に長期的に与える影響を深く理解することが不可欠であることを強調しています。特に、熱サイクルや熱暴走時の過酷な条件下で剥離や結合不良を防ぐための高耐熱性接着剤システムの開発が急務とされています。

### 技術・臨床詳細

バッテリー接着剤は、セル間の機械的固定、熱管理、および電氣的絶縁の多重な役割を担っています。しかし、EVバッテリーは充電・放電サイクル、周囲温度の変化、および潜在的な熱暴走イベントにより、広範な熱サイクルに晒されます。この熱応力は、接着剤の分子構造を劣化させ、その弾性、強度、および接着力を低下させる可能性があります。研究開発は、ガラス転移温度（ $T_g$ ）が高いエポキシ樹脂、耐熱性に優れたシリコン、および特定の耐熱性ポリイミドなど、新世代の接着剤システムに注力しています。これらの材料は、 $-40^{\circ}\text{C}$ から $150^{\circ}\text{C}$ を超える温度範囲で安定した性能を維持するように設計されており、接着界面の応力集中を緩和し、熱膨張係数（CTE）のミスマッチを最小限に抑えるための特殊なフィラーや添加剤が配合されています。これにより、長期的な熱サイクルや高温暴露後も、接着強度が維持され、剥離やクラックの発生が抑制されます。

### 背景・業界文脈

EVおよびエネルギー貯蔵システムの市場が拡大するにつれて、バッテリーの安全性と信頼性が最優先事項となっています。特に、バッテリーパック内の接着剤は、熱管理と構造的完全性の両面で重要な役割を果たすため、その性能劣化は熱暴走の伝播やデバイス全体の故障につながる可能性があります。この問題に対処するため、EUのバッテリー規則2023/1542をはじめとする新たな規制が導入され、バッテリーのライフサイクル全体にわたる安全性評価と、それに資する堅牢な接着性能が強く求められるようになっていきます。このような背景から、接着剤技術の革新は、バッテリーの長期的な性能と安全性を確保するための鍵となっています。

## 今後の展望

熱応力に強いバッテリー接着剤の開発は、EVおよび大規模エネルギー貯蔵システムの次世代設計に不可欠な要素となります。これにより、より安全で長寿命、そして高性能なバッテリーパックの実現が可能となり、電気自動車の普及と再生可能エネルギーの統合をさらに加速させるでしょう。今後、接着剤メーカーとバッテリーメーカーは、材料科学、シミュレーションモデリング、および実環境試験の連携を強化し、極限条件下でも性能を維持する、より高度な接着ソリューションの開発に注力していくと予想されます。さらに、デボンド・オン・デマンド技術など、リサイクル性を考慮した接着剤も重要な開発方向性となるでしょう。

---

元記事: <https://eureka.patsnap.com/report-how-thermal-stress-affects-strength-of-battery-adhesives-over-time>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# ORAFOL、Maxpro Manufacturing買収で米国プレゼンスを拡大し機能性フィルム事業を強化

公開日 2026年05月30日 Global Legal Chronicle ドイツ



## 概要

ORAFOL Europe GmbHは、自動車、建築、塗装保護用途向けの高品質フィルムソリューション開発・製造業者であるMaxpro Manufacturing, LLCを買収した。この買収により、ORAFOLの米国におけるプレゼンスが拡大し、ポリマーフィルム押出から特殊コーティング・ラミネート加工までの機能性フィルム事業のバリューチェーン全体を強化する。デロイトリーガルがORAFOLにアドバイスを提供した。

## 詳細

### 主要成果

ORAFOL Europe GmbHは、Maxpro Manufacturing, LLCの買収を完了し、米国市場におけるプレゼンスを大幅に拡大しました。この買収は、ORAFOLの機能性フィルム事業ユニットを強化し、自動車、建築、および塗装保護分野における高品質フィルムソリューションの提供能力を向上させます。

### 技術・臨床詳細

Maxpro Manufacturing, LLCは、特に自動車、建築、塗装保護の分野で利用される高性能フィルムソリューションの開発と製造に特化しています。同社の製品ポートフォリオには、傷防止フィルム、窓用フィルム、グラフィック保護フィルムなどが含まれます。ORAFOLは、この買収を通じて、ポリマーフィルム押出から特殊コーティング、そしてラミネート加工に至るまでの、機能性フィルムのバリューチェーン全体を自社でカバーできるようになります。これにより、製品の設計、製造、品質管理の各段階において、より高い垂直統合と効率性を実現し、顧客の多様なニーズに迅速に対応できるようになります。Maxproの持つ先進的なコーティング技術とフィルム加工技術は、ORAFOLの既存の製品群に新たな付加価値をもたらし、特に高耐久性および高機能性のフィルムソリューションの開発を加速させます。

### 背景・業界文脈

自動車産業では、車両の外観保護と耐久性向上のために、高品質なフィルムソリューションへの需要が高まっています。また、建築分野では、エネルギー効率と安全性の向上を目的とした窓用フィルムの利用が拡大しています。ORAFOLは、接着技術と機能性フィルムの世界的リーダーとして、この成長市場での地位をさらに強化することを目指しています。今回の買収は、米国市場への直接的なアクセスを拡大し、地域固有の顧客要求に対応するための戦略的な動きです。Deloitte LegalがORAFOLに買収関連の法的アドバイスを提供しました。

## 今後の展望

Maxpro Manufacturingの買収は、ORAFOLのグローバル戦略において重要なマイルストーンとなります。統合された事業は、技術革新を加速させ、より広範な顧客層に高品質な機能性フィルムソリューションを提供できるようになるでしょう。ORAFOLは、このシナジー効果を最大限に活用し、特に成長が期待されるEV分野や、スマート建築ソリューションにおいて、新たな市場機会を創出することを目指します。今回の買収は、同社が提供する製品とサービスの範囲を広げ、業界におけるリーダーシップをさらに確固たるものにするに期待されています。

元記事: <https://www.deloitte.com/dl/en/services/legal/perspectives/transaktion-orafol-maxpro-manufacturing.html>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# WEVO-CHEMIE、EVバッテリーの熱暴走保護向けに高性能シリコンシーリング材「WEVOSIL 23130」を発表

公開日 2026年05月30日 Indian Chemical News ドイツ



# wevo

## 概要

WEVO-CHEMIEは、電気自動車（EV）バッテリーの熱暴走保護を目的とした高性能シリコンシーリング材「WEVOSIL 23130」を発表した。このフィラーフリー液状シリコンゴム（LSR）は、強力な接着力と機械的応力、熱、腐食性バッテリーガスに対する耐性を持ち、堅牢で気密性の高いバリアを形成する。熱イベント時のガスと煙の封じ込め、構造的完全性の維持を支援し、自動生産ラインでの精密ディスペンシングと高速硬化を可能にする。

## 詳細

### 主要成果

WEVO-CHEMIEは、電気自動車（EV）バッテリーパックの安全性を大幅に強化する高性能シリコンシーリング材「WEVOSIL 23130」を発表しました。この革新的な液状シリコンゴム（LSR）は、熱暴走伝播を効果的に阻止し、バッテリー火災のリスクを低減するために設計されています。

### 技術・臨床詳細

WEVOSIL 23130は、フィラーフリーのLSRであり、硬化後に堅牢かつ気密性の高いバリアを形成します。その最大の特徴は、強力な接着力と、機械的応力、極端な熱、さらには腐食性のバッテリーガスに対する優れた耐性です。熱暴走が発生すると、バッテリーセルからガスや煙が急速に放出されますが、WEVOSIL 23130によって形成されたシーリングは、これらの物質を効果的に封じ込め、隣接するセルや車両内部への拡散を防ぎます。これにより、構造的完全性が維持され、乗員の安全確保に貢献します。この材料は、自動生産ラインでの精密ディスペンシングに最適化されており、加熱することで高速硬化が可能であるため、EVバッテリー製造における生産効率の向上にも寄与します。また、-50℃から200℃の広範囲な温度で安定した性能を発揮し、長期的な信頼性を提供します。

### 背景・業界文脈

EV市場の急速な成長に伴い、バッテリーの安全性、特に熱暴走の防止は、自動車メーカーにとって最優先課題となっています。熱暴走は、バッテリー内部の異常発熱が連鎖的に広がり、最終的に火災や爆発を引き起こす可能性があるため、セル間の効果的な隔離と、熱暴走時に発生するガスや煙の制御が不可欠です。従来のシーリング材では、高温下での性能劣化や接着力の不足が課題となることがありましたが、WEVOSIL 23130はこれらの課題に対応するために特別に開発されました。EUのバッテリー規則2023/1542などの新たな規制も、バッテリーのライフサイクル全体における安全性評価を重視しており、このような高性能材料への需要が高まっています。

## 今後の展望

WEVOSIL 23130の導入は、EVバッテリーの安全性設計に新たな標準を確立する可能性を秘めています。この材料は、より高エネルギー密度かつ安全なバッテリーパックの開発を可能にし、電気自動車のさらなる普及を後押しすると考えられます。WEVO-CHEMIEは、この革新的な技術を通じて、e-モビリティ市場におけるリーダーシップを強化し、持続可能で安全な交通システムの構築に貢献することを目指しています。今後、他のバッテリーセル形式やエネルギー貯蔵システムへの応用も期待され、次世代バッテリー技術の進化に不可欠な要素となるでしょう。

元記事: <https://www.indianchemicalnews.com/electric-vehicles/wevo-targets-ev-battery-safety-push-with-high-performance-silicone-seal-for-thermal-runaway-protection-30593>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Henkel、美容分野での存在感を強化するためOLAPLEXを14億ドルで買収合意

公開日 2026年06月02日 DelMorgan & Co. ドイツ

## Henkel to Acquire OLAPLEX for \$1.4Bn

Del  
Morgan  
& Co.

### 概要

Henkelは、美容・パーソナルケア分野での存在感を強化するため、ヘアケアブランドOLAPLEXを約14億ドルで買収することに合意した。この買収は、グローバルな美容・パーソナルケア業界における統合の動きを反映したものの。接着剤、ホームケア、美容製品を展開するHenkelは、OLAPLEXのブランド認知度と独自のボンド構築技術を活用し、プレステージセグメントでのリーチを拡大することを目指す。

## 詳細

### 主要成果

Henkelは、革新的なヘアケアブランドであるOLAPLEXを約14億ドルで買収することに合意しました。この買収は、Henkelがグローバルな美容およびパーソナルケア市場における特にプレステージセグメントでの存在感を強化するための戦略的な動きです。

### 技術・臨床詳細

OLAPLEXは、独自の「ボンド構築」技術を核とした製品ラインナップで知られており、毛髪の結合を再構築・強化することで、ダメージを受けた髪を修復する効果を提供します。この技術は、特にカラーリングやパーマなどの化学処理によるダメージから髪を保護し、健康な状態を維持する上で高い評価を受けています。一方、Henkelは、接着剤、シーラント、機能性コーティングといった産業用ソリューションの分野で世界的なリーダーシップを持つと同時に、Schwarzkopfなどのブランドで美容市場にも深く関与しています。今回の買収は、Henkelの美容ケアポートフォリオに、高成長かつ高収益のプレステージブランドを加えることで、市場での競争力を高めるとともに、イノベーションを加速させることを目的としています。

### 背景・業界文脈

美容およびパーソナルケア業界は、近年、ブランドの集中と多様な製品カテゴリーへの拡大を目指す企業による活発なM&A活動が特徴となっています。消費者の間でプレミアムで効果の高いヘアケア製品への需要が高まる中、OLAPLEXのような、科学的根拠に基づいた独自の技術を持つブランドは特に魅力的な買収対象となっています。Henkelは、幅広い事業を展開する多国籍企業であり、接着技術、ホームケア、美容製品といった多様なセグメントで活動しています。今回のOLAPLEX買収は、同社の美容事業の成長戦略における重要な一環と位置づけられています。

## 今後の展望

OLAPLEXの買収は、2026年下半期に完了する予定であり、Henkelの美容ケア部門に新たな成長機会をもたらすでしょう。Henkelは、そのグローバルな流通ネットワークと研究開発能力を活用し、OLAPLEXの革新的な製品をより広範な消費者層に届けることを目指します。この統合により、OLAPLEXブランドはさらなる成長を遂げるとともに、Henkelの美容事業全体の収益性と市場シェアの向上に貢献すると期待されます。長期的には、Henkelは、消費者の進化するニーズに対応するために、持続可能な製品開発と技術革新への投資を継続していくでしょう。

元記事: <https://delmorganco.com/olaplex-to-be-acquired-by-henkel-for-1-4bn/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Ammega、ジョージア州工場で水性ポリウレタンベルト生産を拡大し持続可能性とVOC削減を推進

公開日 2026年06月03日 The National Provisioner アメリカ



## 概要

Ammega Groupは、ジョージア州の工場を拡張し、水性ポリウレタン（PU）ベルトの生産を全世界で初めて開始した。この革新は、化学溶媒を水に置き換えることで大気汚染を大幅に削減し、生分解性を向上させるなど、全体的な持続可能性向上に貢献。特に、欧州におけるVOC排出およびREACH規制など、将来的な規制要件への対応を先行するものとなる。

## 詳細

### 主要成果

Ammega Groupは、米国ジョージア州の製造施設を拡張し、水性ポリウレタン（PU）ベルトの生産を世界で初めて開始しました。この画期的な取り組みは、従来の製造プロセスから化学溶媒の使用を排除し、水性技術に転換することで、大気汚染を大幅に削減し、製品の持続可能性を飛躍的に向上させます。

### 技術・臨床詳細

水性ポリウレタンベルトの生産は、製造工程で化学溶媒の代わりに水を使用することを特徴としています。これにより、VOC（揮発性有機化合物）の排出が大幅に削減され、工場内の作業環境が改善されるとともに、大気汚染のリスクが低減されます。水性PUは、環境に優しいため、製品のライフサイクル全体における環境フットプリントが小さくなります。製造されるベルトは、食品加工、物流、農業など、幅広い産業用途向けに設計されており、従来のPUベルトと同等以上の機械的強度、耐摩耗性、耐久性を提供します。また、水性化により、製品の生分解性も向上し、廃棄時の環境負荷をさらに低減します。この技術革新は、より厳しい環境規制が導入される将来を見据えたもので、特に欧州のREACH規則やVOC排出基準への対応において、Ammegaを先行させるものです。

### 背景・業界文脈

産業用ベルト製造業界では、環境規制の強化と持続可能性への要求が高まっています。特に、VOC排出は、作業者の健康と環境に対する懸念から、多くの国で厳しく制限されています。このため、メーカーは、性能を維持しつつ、より環境に優しい生産方法と製品材料への転換を迫られています。Ammegaのこの投資は、このような市場と規制の動向に戦略的に対応するものであり、同社が持続可能な製造のリーダーシップを確立することを目指すものです。

## 今後の展望

Ammegaのジョージア工場における水性PUベルト生産の拡大は、産業用ベルト業界における持続可能性の新たな標準を設定する可能性を秘めています。この技術は、他の製造拠点への展開や、様々な製品ラインへの応用を通じて、Ammega全体の環境フットプリント削減に貢献するでしょう。また、水性PUベルトは、環境意識の高い顧客層や、VOC規制が厳しい市場での競争優位性をもたらします。Ammegaは、この革新を通じて、環境に配慮した製品ソリューションを提供し、持続可能な未来に向けた産業の変革を推進していくことが期待されます。

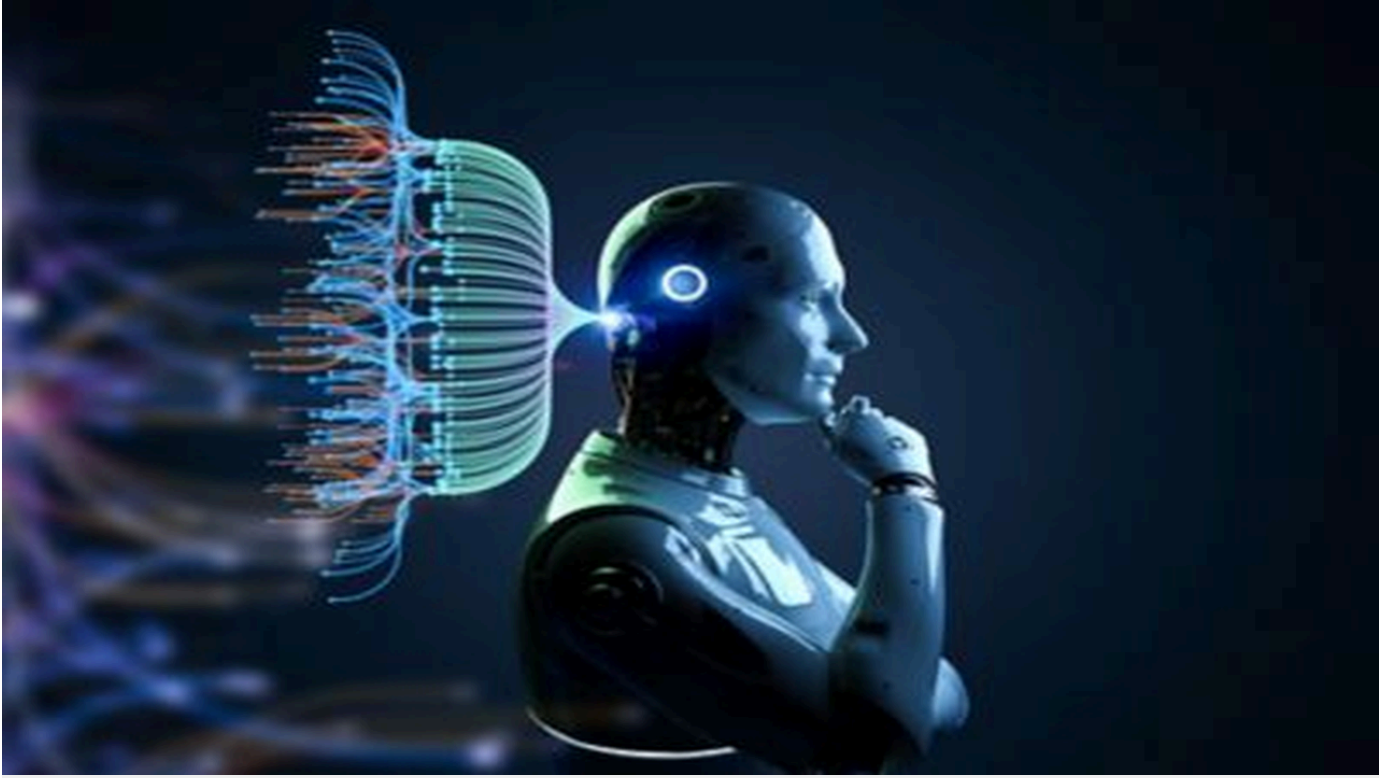
---

元記事: <https://www.provisioneronline.com/articles/120716-ammega-expands-capabilities-at-georgia-facility-with-water-based-polyurethane-belt-production>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Henkel Adhesives、高性能コンピューティングと生成AI向けに先進半導体パッケージング材料を革新

公開日 日付不明 Henkel Adhesives ドイツ



## 概要

Henkelは、急速に進化する技術環境において、高性能、高集積、高効率が求められる先進半導体パッケージング向けに革新的な材料ソリューションを開発している。特に、ファインピッチ、高密度相互接続を可能にする材料に焦点を当てており、生成AIや高性能コンピューティング（HPC）が牽引する2.5Dおよび3Dパッケージング技術にとって不可欠な要素となる。

## 詳細

### 主要成果

Henkel Adhesivesは、次世代の高性能コンピューティング（HPC）および生成AI技術が求める、高度に進化する半導体パッケージング市場向けに、革新的な材料ソリューションを開発しています。同社は、より高い性能、集積度、効率性を実現するために、ファインピッチおよび高密度相互接続を可能にする材料に注力しています。

### 技術・臨床詳細

Henkelが開発している材料ソリューションは、2.5Dおよび3Dパッケージングといった先進技術の基盤となります。これには、以下の技術革新が含まれます。

- **アンダーフィル材料:** チップと基板間の熱膨張係数（CTE）ミスマッチによって生じる応力を緩和し、はんだ接合部の信頼性を高めるために、低応力かつ高靱性のアンダーフィル材が開発されています。これにより、微細なバンプピッチでも高い接続信頼性が確保されます。
- **ダイアタッチフィルム（DAF）/ペースト:** 薄型化と高熱伝導性が求められる中で、高接着強度と優れた熱放散能力を両立するDAFやペーストが開発されています。これにより、多層構造のパッケージングにおける熱管理が向上します。
- **エポキシモールドディングコンパウンド（EMC）:** デバイスを湿気、化学物質、物理的損傷から保護し、同時に高い熱安定性と低アウトガス性を備えたEMCが重要です。特に、薄型で信頼性の高いパッケージングのために、低粘度で流動性に優れたEMCが開発されています。
- **熱界面材料（TIM）:** 発熱源からヒートシンクへの効率的な熱伝達を可能にするために、高熱伝導率（例: 3W/mK以上）と長期安定性を持つTIMが不可欠です。

これらの材料は、微細な配線パターンや高密度な積層構造に対応するために、高精度な塗布性と制御された硬化特性が求められます。

## 背景・業界文脈

半導体業界では、ムーアの法則の限界に直面し、性能向上のためにパッケージング技術の革新が不可欠となっています。特にAIやHPCアプリケーションは、膨大なデータを高速処理する必要があるため、チップレベルでの相互接続密度と熱管理がこれまで以上に重要です。2.5D/3Dパッケージングは、複数のチップレットを垂直または水平に統合することで、フットプリントを削減し、データ転送速度を向上させる主要な手段となっています。Henkelは、接着剤と材料科学の専門知識を活かし、この進化する市場の要求に応えるための重要なパートナーとしての役割を担っています。

## 今後の展望

Henkelの先進半導体パッケージング材料ソリューションは、次世代のAIチップとHPCシステムの実現を加速する上で不可欠です。これらの材料は、データセンター、自動車の自律走行システム、5Gインフラなど、高性能が求められる幅広い分野での応用が期待されます。同社は、引き続き研究開発に注力し、材料の性能向上、製造プロセスの効率化、および環境適合性の向上を通じて、半導体業界の持続可能な成長に貢献していく方針です。これにより、Henkelは、技術革新を支える材料プロバイダーとしての地位をさらに確固たるものにするでしょう。

---

元記事: <https://next.henkel-adhesives.com/my/en/articles/market-evolution-and-material-solutions.html>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Alliance Chemicalレポート：EVバッテリーとパワーエレクトロニクスにおけるタルクの先進技術応用

公開日 2026年05月29日 Alliance Chemical アメリカ



## 概要

Alliance Chemicalのレポートは、EVバッテリー熱管理およびパワーエレクトロニクスを含むハイテク製造において、精製タルクが極めて重要になっていると指摘。車載グレードパワーデバイスのエポキシモールドディングコンパウンドでは、タルクの層状構造が熱膨張係数（CTE）ミスマッチを低減し、熱サイクル中の信頼性を向上させる。タルクは熱界面材料、膨張性防火バリア、バッテリーエンクロージャーコンパウンドにも使用される。

## 詳細

### 主要成果

Alliance Chemicalのレポートは、精製されたタルクグレードが、電気自動車（EV）バッテリーの熱管理やパワーエレクトロニクスなどのハイテク製造分野で不可欠な材料として浮上していることを強調しています。特に、そのユニークな層状構造が、熱応力下のデバイス信頼性を向上させる鍵となっています。

### 技術・臨床詳細

タルクは、その独特の層状結晶構造（薄い血小板形態）により、様々な先進材料の性能を向上させます。車載グレードのパワーデバイス（例: SiCパワーモジュール）で使用されるエポキシモールドディングコンパウンド（EMC）においては、タルクが熱膨張係数（CTE）のミスマッチを効果的に低減します。これにより、高温での半導体組立プロセスや、長期的な熱サイクルにおける応力集中が緩和され、パッケージの反り、剥離、樹脂クラックなどの故障リスクが大幅に低減されます。EVバッテリーモジュールでは、タルクを充填したシリコンやポリウレタン製のギャップパッドが熱界面材料（TIM）として使用され、1.5~3.0 W/m·Kの熱伝導率を実現しつつ、セルの膨張に対応するコンプライアンス（柔軟性）を維持します。これは、高価な窒化ホウ素充填TIMと比較して、費用対効果に優れています。さらに、タルクは熱暴走時に熱保護を提供する膨張性防火バリアコンパウンドや、バッテリーエンクロージャーの構造材料にも利用され、高い難燃性と機械的強度を付与します。

### 背景・業界文脈

現代の電子機器とEVは、高密度化、高出力化、そして小型化が進んでおり、これに伴い、熱管理と信頼性の課題が深刻化しています。特にパワーエレクトロニクスでは、高温での動作と繰り返される熱サイクルがデバイスの寿命に大きな影響を与えます。また、EVバッテリーでは、熱暴走の防止と安全性の確保が最優先事項です。従来の材料ではこれらの要求をすべて満たすことが困難でしたが、タルクのような汎用性の高い鉱物が、コスト効率と性能の両面で優れたソリューションを提供することで注目されています。中国などでは、半導体材料の国産化の動きも活発化しており、高性能なエポキシモールドディングコンパウンドやTIMの需要は高まっています。

## 今後の展望

タルクの先進技術応用は、EV、パワーエレクトロニクス、AIインフラなど、高熱管理と高信頼性が求められる分野において、さらなるイノベーションを推進する可能性を秘めています。そのコスト効率と性能のバランスは、特に大規模な製造スケールでの採用を促進するでしょう。今後、タルクの表面改質技術や複合材料としての最適化が進むことで、さらに高熱伝導性かつ高性能なTIMやEMCの開発が期待されます。Alliance Chemicalのような企業は、タルクの供給と応用技術の開発を通じて、これらの最先端産業の発展を支えていくことになります。

---

元記事: <https://alliancechemical.com/blogs/articles/talc-advanced-technology-ev-batteries-power-electronics>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# 住友ベークライト、次世代SiCパワーモジュール向けに業界最高Tg 230°Cのエポキシモールドディングコンパウンド「G785シリーズ」を発表

公開日 2026年06月01日 Sumitomo Bakelite Co., Ltd. 日本



## 概要

住友ベークライトは、次世代SiCパワーモジュール向けに、業界最高のガラス転移温度（Tg）230°Cを達成した「G785シリーズ」高Tgエポキシモールドディングコンパウンドを開発した。この新材料は、高Tgと低応力のトレードオフを解消し、弾性率の上昇を抑制することで、反り、剥離、樹脂クラックを最小限に抑える。これにより、高温動作するSiCデバイスのパッケージング信頼性を大幅に向上させる。

## 詳細

### 主要成果

住友ベークライト株式会社は、次世代の炭化ケイ素（SiC）パワーモジュール向けに、業界最高のガラス転移温度（Tg）230℃を誇る高Tgエポキシモールドディングコンパウンド「G785シリーズ」を開発しました。この画期的な材料は、高Tgと低応力の両立という長年の課題を解決し、高温環境下でのSiCデバイスの長期信頼性を大幅に向上させます。

### 技術・臨床詳細

G785シリーズは、従来の高Tg材料にありがちな硬化後の弾性率の過度な上昇を独自技術で抑制することに成功しました。これにより、Tgが230℃という極めて高い水準に達しながらも、パッケージ内部で発生する熱応力を効果的に緩和します。その結果、パワーモジュールの製造プロセスや、高温での動作中に発生しがちな反り（warping）、ダイヤリードフレームとの剥離、さらには樹脂自体のクラック（ひび割れ）といった信頼性問題が最小限に抑えられます。特に、SiCパワーモジュールはSi（シリコン）デバイスよりも高い動作温度（一般的に200℃以上）が想定されており、それに伴う熱膨張係数（CTE）のミスマッチによる応力はデバイスの寿命に直結します。G785シリーズは、このCTEミスマッチに起因する応力問題を根本的に解決し、高信頼性のパッケージングを実現します。さらに、優れた電気絶縁性、耐湿性、耐熱性を兼ね備え、厳しい環境下での安定動作を保証します。

### 背景・業界文脈

SiCパワーデバイスは、高い電力効率と小型化が可能のため、電気自動車（EV）、再生可能エネルギーシステム、産業機器などの次世代電力変換器のキーコンポーネントとして注目されています。しかし、SiCデバイスは、Siデバイスよりも高温で動作するため、パッケージング材料にはより高い耐熱性と信頼性が求められます。特に、高Tg材料は熱安定性に優れる一方で、硬化後の剛性が高まり、内部応力が増加するというトレードオフがありました。この課題が、SiCパワーモジュールの高性能化と信頼性向上を妨げる大きな要因となっていました。住友ベークライトのG785シリーズは、この技術的障壁を乗り越えることで、SiCパワーモジュールの普及と発展を加速させるものです。

## 今後の展望

G785シリーズの導入は、SiCパワーモジュール市場におけるパッケージング技術の標準を再定義する可能性を秘めています。この革新的な材料は、EVの航続距離延長、充電時間の短縮、太陽光発電システムの効率向上など、様々な応用分野において製品性能と信頼性の向上に貢献するでしょう。住友ベークライトは、このG785シリーズをグローバル市場に展開し、次世代パワーエレクトロニクスの発展を材料面から強かに支援していく方針です。これにより、同社は、先端材料サプライヤーとしてのリーダーシップをさらに確固たるものにし、持続可能な社会の実現に貢献していくことが期待されます。

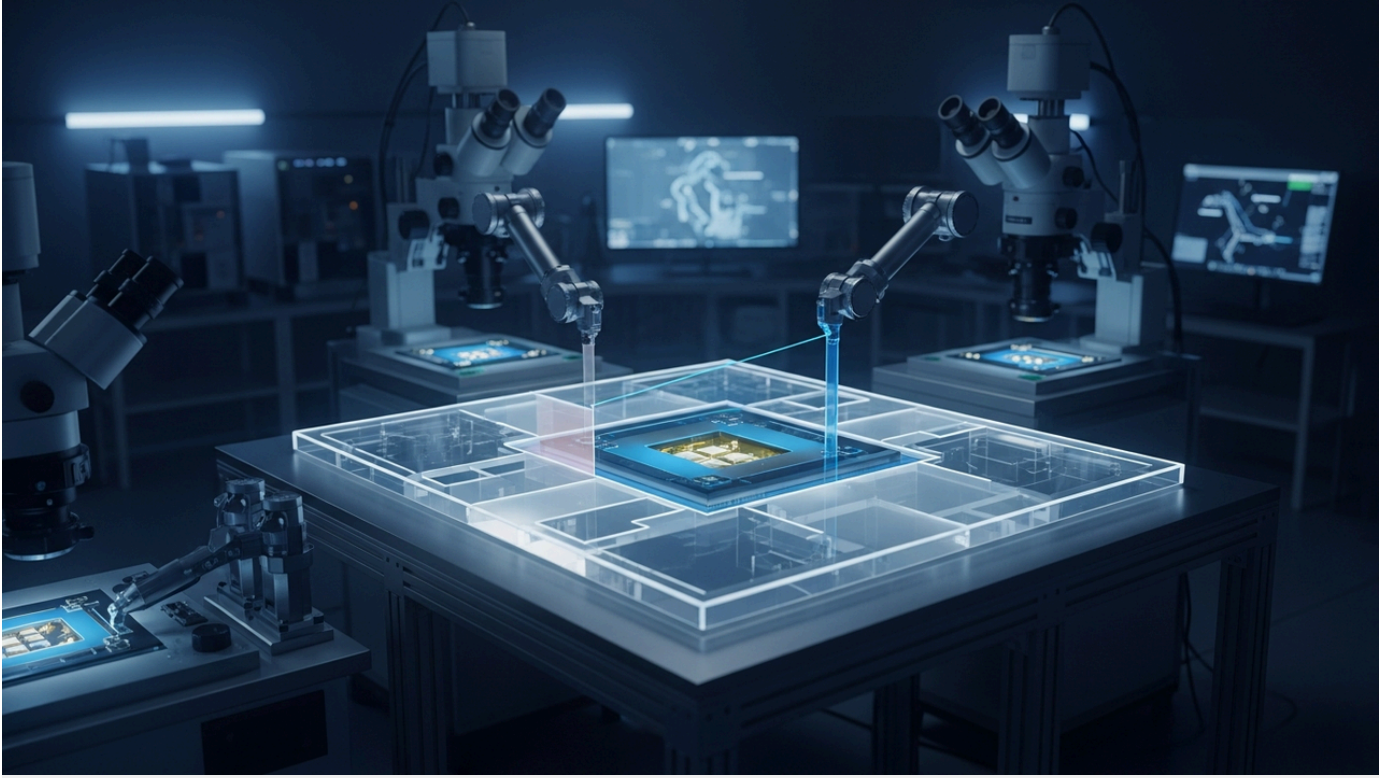
---

元記事: [https://www.sumibe.co.jp/english/topics/2026/it-materials/0428\\_01/index.html](https://www.sumibe.co.jp/english/topics/2026/it-materials/0428_01/index.html)

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# PatSnap Eurekaレポート：高信頼性システム向けチップ埋め込みエポキシにおけるボイド発生低減技術

公開日 2026年05月29日 PatSnap Eureka グローバル



## 概要

PatSnap Eurekaのレポートは、高信頼性電子パッケージング、特に車載・航空宇宙システムにおいて、チップ埋め込みエポキシにおけるボイド発生の低減が極めて重要な信頼性課題であることを指摘。Resonacや住友ベークライトなどの企業は、レオロジー特性の最適化、硬化速度の制御、低粘度配合、脱ガス添加剤を含む先進エポキシモールドディングコンパウンドを開発。これらの技術は、濡れ性、寸法安定性、長期信頼性の向上を目指す。

## 詳細

### 主要成果

PatSnap Eurekaの最新レポートは、高信頼性が求められる電子パッケージング、特に車載および航空宇宙システムにおいて、チップ埋め込み用エポキシ樹脂におけるボイド（気泡）発生の低減が極めて重要な課題であることを明確にしています。ボイドはデバイスの信頼性を著しく低下させるため、その抑制が技術革新の焦点となっています。

### 技術・臨床詳細

ボイド発生を低減するための主なアプローチは、材料とプロセスの両面から行われています。材料面では、Resonac（旧昭和電工マテリアルズ）や住友ベークライトといった主要企業が、先進エポキシモールドディングコンパウンド（EMC）の開発に注力しています。これらのEMCは、以下の特性を最適化しています。

- **レオロジー特性の最適化**：樹脂の流動性を精密に制御することで、微細な隙間や複雑な構造を持つ領域にも均一に充填され、ボイドの巻き込みを抑制します。
- **硬化速度の制御**：急速な硬化は気泡を閉じ込める原因となるため、適切な硬化速度と硬化プロファイルを設定することで、気泡が脱離する時間を確保します。
- **低粘度配合**：粘度の低いエポキシ樹脂は、チップ周りをより効率的に濡らし、気泡の排出を促進します。
- **脱ガス添加剤**：特殊な添加剤を配合することで、硬化中に発生するガスを効率的に排出し、ボイド形成を防ぎます。

プロセス面では、真空成形、減圧下でのディスペンシング、および最適化された熱硬化プロファイルなどが採用されています。これらの技術は、接着剤の濡れ性を向上させ、寸法安定性を確保し、デバイスの長期信頼性を高めることを目的としています。

## 背景・業界文脈

現代の電子デバイスは、小型化、高集積化、そしてより高い動作温度での信頼性が求められています。特に車載エレクトロニクスや航空宇宙アプリケーションでは、安全性と信頼性が最優先事項であり、わずかなボイドでも短絡、熱放散の低下、機械的弱点、そして最終的にはデバイスの故障につながる可能性があります。このため、パッケージング材料メーカーは、ボイドフリーまたはボイドレスに近いエポキシ樹脂の開発に多大な投資を行っています。この技術は、AIチップや高性能コンピューティング（HPC）の進展にも不可欠であり、複雑なチップ設計におけるパッケージングの課題を解決する鍵となります。

## 今後の展望

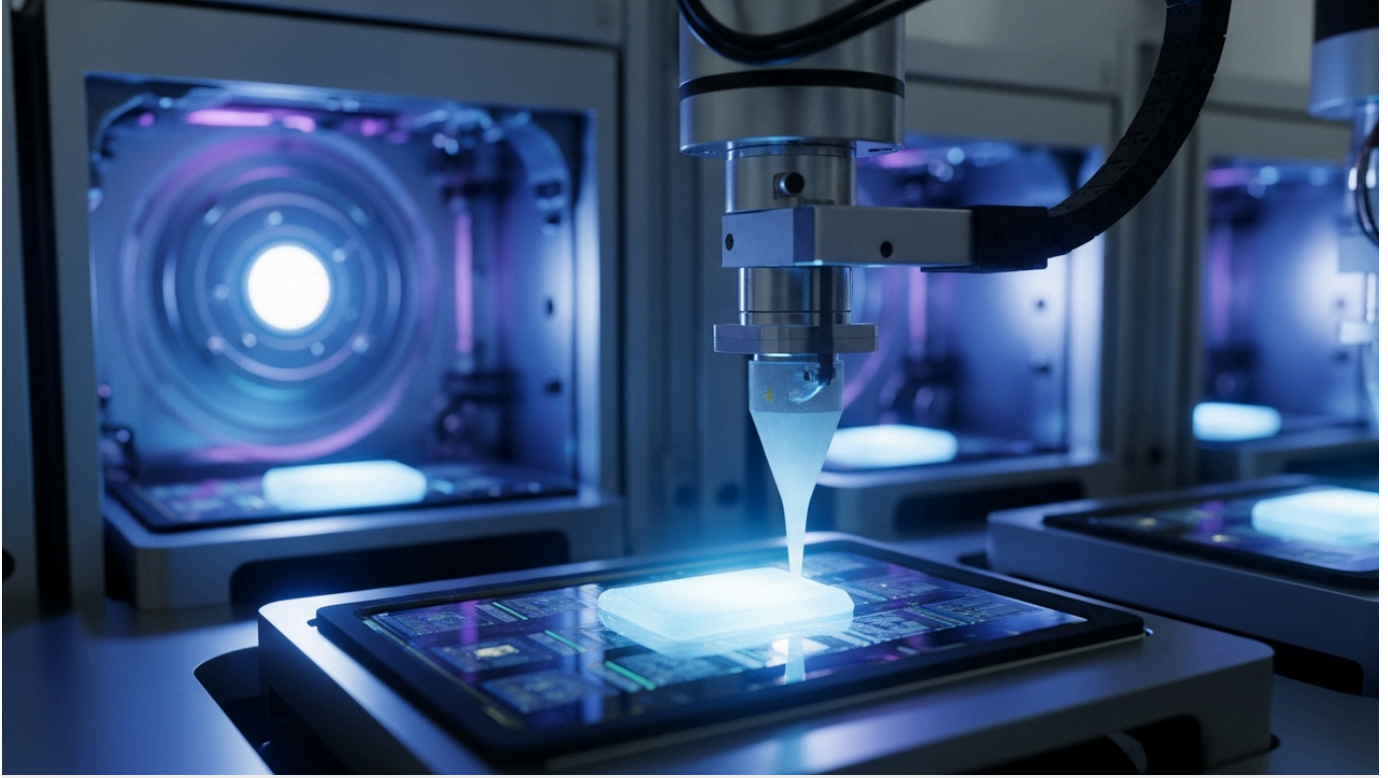
チップ埋め込みエポキシにおけるボイド発生低減技術の進展は、高信頼性電子デバイスの次世代製品開発に不可欠な要素です。これにより、より堅牢で長寿命なデバイスの実現が可能となり、自動運転車、宇宙探査機、医療用インプラントなど、人命に関わる可能性のあるアプリケーションでの採用が拡大するでしょう。今後、材料メーカーとデバイスメーカーは、AIを活用した材料設計やプロセス最適化を通じて、ボイド発生をさらに抑制するソリューションの開発に注力し、エレクトロニクス業界の技術革新を加速させていくと予想されます。

---

元記事: <https://eureka.patsnap.com/report-how-to-reduce-voiding-in-chip-embedding-epoxies-for-high-reliability-systems>

# PatSnap Eurekaレポート：チップ埋め込みにおけるUV硬化型接着剤の高速性比較と技術革新

公開日 2026年05月30日 PatSnap Eureka グローバル



## 概要

PatSnap Eurekaのレポートは、半導体業界でチップ埋め込みにUV硬化型接着剤の採用が加速している背景には、その高速硬化能力と精密製造における優位性があることを示している。3Mなどの企業は、アクリレート化学を応用した構造接着剤を開発しており、熱管理、電気絶縁、低収縮性に注力。これらの接着剤は、UV照射下で5～30秒、初期タックでは2～3秒という超高速硬化時間を達成する。

## 詳細

### 主要成果

PatSnap Eurekaの最新レポートは、半導体業界におけるチップ埋め込み工程でUV硬化型接着剤の採用が急速に拡大していることを明らかにしています。その主要な推進力は、UV硬化型接着剤が提供する優れた高速硬化能力と精密製造における圧倒的な優位性であり、生産効率とスループットを劇的に向上させています。

### 技術・臨床詳細

UV硬化型接着剤は、特定の波長の紫外線（UV）に数秒間さらされるだけで硬化が開始・完了する特性を持っています。レポートによると、これらの接着剤は一般的に5～30秒で硬化し、中には初期タックを2～3秒で達成する超高速硬化タイプの製品も存在します。これは、従来の熱硬化型接着剤が数分から数時間を要するのと比較して、製造サイクルタイムを大幅に短縮します。3Mなどの主要な材料メーカーは、先進的なアクリレート化学をベースにしたUV硬化型接着剤を開発しており、構造接着、熱管理、電気絶縁、および低収縮性といった複合的な性能を追求しています。低収縮性は、硬化時の材料の体積変化を最小限に抑え、精密部品の寸法安定性を確保するために不可欠です。また、これらの接着剤は、半導体パッケージングで一般的に使用される様々な基材（シリコン、セラミック、ポリマーなど）に対して優れた接着強度を示し、デバイスの信頼性を高めます。さらに、溶剤フリーであるため、VOC（揮発性有機化合物）排出がなく、作業環境の安全性と環境適合性にも優れています。

### 背景・業界文脈

半導体産業では、ムーアの法則の限界に近づき、チップの小型化と高性能化を両立させるために、革新的なパッケージング技術が不可欠となっています。チップ埋め込み（Chip Embedding）は、チップを直接基板内に埋め込むことで、パッケージの薄型化、フットプリントの削減、電気的特性の向上を実現する技術です。このプロセスでは、高速かつ高精度な接着が求められ、従来の接着技術では生産性のボトルネックとなることがありました。UV硬化型接着剤は、その高速性と、精密な塗布および硬化制御が可能な特性により、この課題を解決する理想的なソリューションとして注目されています。これは、AIチップ、HPC（高性能コンピューティング）、およびモバイルデバイスの進化に直接貢献します。

## 今後の展望

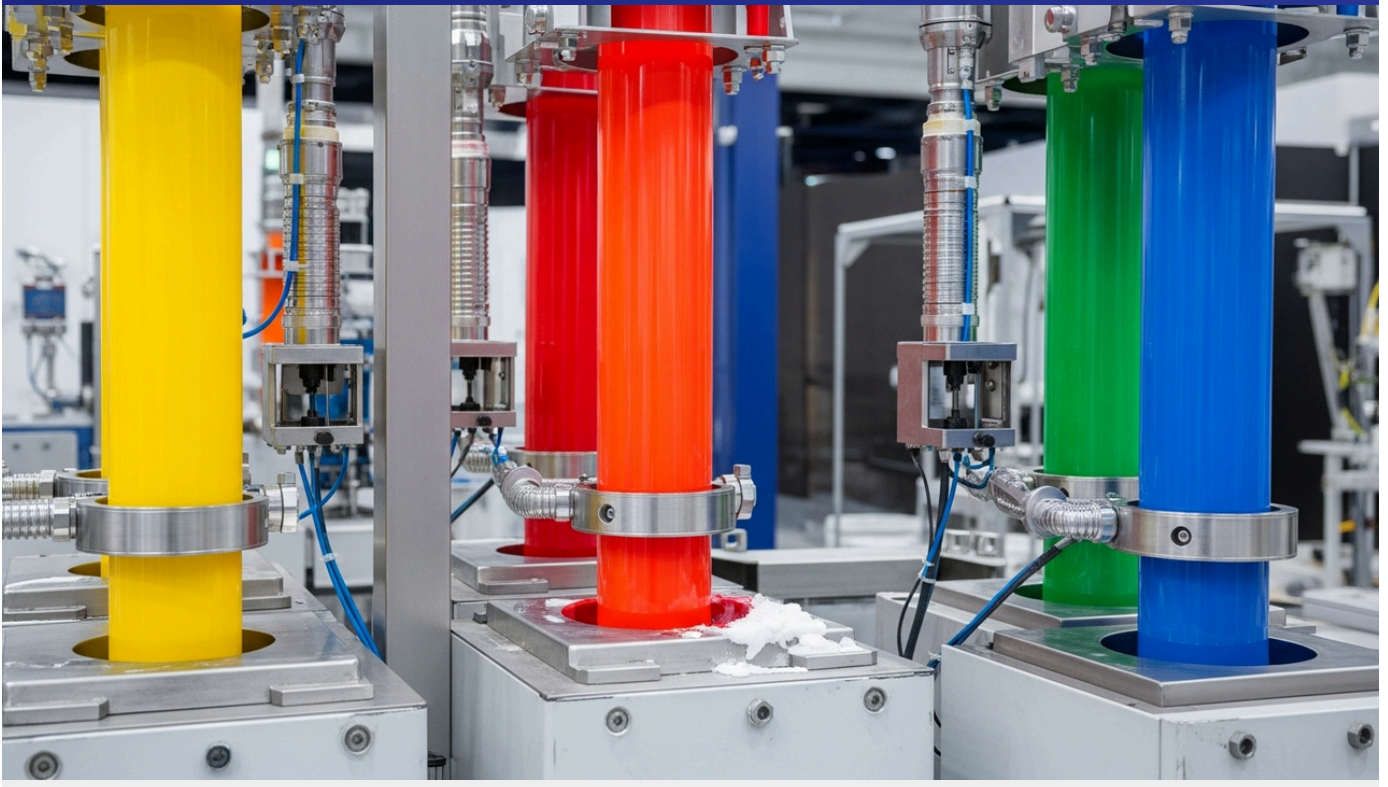
UV硬化型接着剤技術のさらなる進展は、半導体パッケージングの将来において極めて重要な役割を果たすでしょう。より高速で信頼性の高い接着ソリューションは、次世代の小型・高集積デバイスの量産化を可能にし、AI、5G、IoT、自動運転車といった先端技術の普及を加速させます。今後、材料メーカーは、さらに優れた熱管理性能、機械的強度、そして特定の用途要件（例えば、屈曲性や耐衝撃性）に対応するカスタム配合の開発に注力していくと予想されます。また、UV硬化プロセスの最適化と統合も、生産性向上に向けた重要な方向性となるでしょう。

元記事: <https://eureka.patsnap.com/report-comparing-uv-curable-adhesives-for-speed-in-chip-embedding-operations>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# Brilliant Polymers、Interpackで省エネ・VOCフリーの次世代溶剤フリー接着剤を展示

公開日 2026年05月28日 Packaging South Asia インド



## 概要

Brilliant Polymersは、Interpack 2026で、フレキシブルパッケージング向けの最新溶剤フリー接着剤技術を展示した。これらの次世代ラミネート接着剤は、高速ラミネーション環境向けに設計されており、エネルギー消費の削減、VOC排出の排除、作業環境の安全性向上といった運用上および持続可能性上の利点を提供する。様々な要求の厳しいフレキシブルパッケージング用途に適している。

## 詳細

### 主要成果

Brilliant Polymersは、「Interpack 2026」において、フレキシブルパッケージング業界向けに特化した最新の溶剤フリー接着剤技術を展示しました。これらの次世代ラミネート接着剤は、高速ラミネーション環境での使用に最適化されており、環境負荷低減と生産効率向上の両面で大きな利点を提供します。

### 技術・臨床詳細

Brilliant Polymersが展示した溶剤フリー接着剤は、従来の溶剤系接着剤と比較して、製造プロセスにおいてVOC（揮発性有機化合物）を一切排出しないという特徴があります。これにより、作業環境の空気を清浄に保ち、作業者の健康リスクを低減するとともに、大気汚染の防止に貢献します。さらに、溶剤乾燥工程が不要になるため、大幅なエネルギー消費量の削減が可能となり、生産コストの低減にもつながります。これらの接着剤は、高速ラミネーターでの使用を想定して設計されており、優れた初期タックと高い接着強度を両立させることで、生産ラインのスループットを向上させます。また、幅広い種類のフィルム素材（ポリエステル、ナイロン、OPPなど）に対応し、レトルト殺菌、冷凍保存、高温充填など、要求の厳しい様々なフレキシブルパッケージング用途において、優れた層間強度と耐久性を提供します。

### 背景・業界文脈

フレキシブルパッケージング業界では、製品の保護、利便性、美観に加え、環境持続可能性への要求が急速に高まっています。特に、VOC排出規制の強化と、エネルギーコストの上昇は、メーカーにとって溶剤フリー技術への移行を加速させる主要な要因となっています。Brilliant Polymersは、このような市場の動向を先読みし、革新的な溶剤フリー接着剤ソリューションを開発することで、顧客企業が環境目標を達成し、競争力を維持できるよう支援しています。インドを拠点とする同社は、アジア地域におけるフレキシブルパッケージング市場の成長を支える重要な役割を担っています。

## 今後の展望

Brilliant Polymersの溶剤フリー接着剤技術は、フレキシブルパッケージング業界における持続可能性と効率性の新たな標準を確立する可能性を秘めています。今後、この技術は、食品、飲料、医薬品、パーソナルケア製品など、幅広いパッケージング用途での採用が拡大するでしょう。同社は、継続的な研究開発を通じて、さらに高性能で多機能な溶剤フリー接着剤を投入し、バイオベース素材やリサイクル素材との互換性を高めることで、循環型経済への貢献を強化していく方針です。これにより、Brilliant Polymersは、環境に配慮したパッケージングソリューションのリーディングプロバイダーとしての地位を確立していくことが期待されます。

元記事: <https://packagingsouthasia.com/events/brilliant-polymer-interpack/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# #24 DalFort Capital Partners、第2ファンドを1.66億ドルでクローズ、Polymer Adhesives Holdings売却で成功

公開日 2026年05月29日 PR Newswire アメリカ



## 概要

DalFort Capital Partnersは、第2ファンドを1億6,600万ドルでクローズし、ハードキャップを上回る資金調達に成功したと発表した。同時に、高性能ダクトシーラント、接着剤、防火材料メーカーであるPolymer Adhesives HoldingsをDiversiTech Corporationに売却した。Polymer Adhesivesは、Volunteer AdhesivesとFielco Adhesivesの買収を通じて、水性・溶剤系接着剤や二成分エポキシシステムへと製品ポートフォリオを拡大していた。

## 詳細

### 主要成果

DalFort Capital Partnersは、第2ファンドを1億6,600万ドルでクローズし、当初のハードキャップを超える資金調達に成功したと発表しました。この発表と同時に、DalFortは、ポートフォリオ企業であった高性能ダクトシーラント、接着剤、防火材料メーカーのPolymer Adhesives HoldingsをDiversiTech Corporationに売却したことも公表しました。

### 技術・臨床詳細

Polymer Adhesives Holdingsは、ダクトシーラント、接着剤、防火材料といった幅広い特殊化学製品を製造しています。同社は、DalFort Capital Partnersの支援のもと、積極的な買収戦略を通じて製品ポートフォリオと製造拠点を拡大してきました。具体的には、水性および溶剤ベースの接着剤に強みを持つVolunteer Adhesivesと、二成分エポキシシステムに特化したFielco Adhesivesを買収し、その技術基盤と市場リーチを強化しました。これにより、HVAC（冷暖房空調）産業、建設業、製造業など、多様な顧客ニーズに対応する高機能接着・シーリングソリューションを提供できるようになりました。特に、防火材料は、建築物の安全性基準の厳格化に伴い、需要が高まっている分野です。

### 背景・業界文脈

プライベートエクイティファンドであるDalFort Capital Partnersは、中規模企業への投資を通じて、企業価値の向上と成長を支援しています。今回のPolymer Adhesives Holdingsの売却は、DalFortがポートフォリオ企業の戦略的成長を成功裏に導き、有利なイグジットを実現した典型的な事例です。特殊化学品および建設材料市場では、環境規制への対応や高性能製品への需要増により、M&A活動が活発化しています。DiversiTech Corporationは、HVAC関連製品の大手サプライヤーであり、Polymer Adhesivesの買収は、その製品ラインを補完し、市場での競争力を強化するものです。

## 今後の展望

DalFort Capital Partnersの第2ファンドの成功なクローズとPolymer Adhesives Holdingsの売却は、同社の投資戦略の有効性を示すものです。これにより、DalFortは新たな投資機会を追求するための強固な基盤を築きました。一方、DiversiTech Corporationに統合されたPolymer Adhesives Holdingsは、より大規模なリソースと販売チャネルを活用することで、製品開発と市場拡大をさらに加速させることが期待されます。特に、高性能接着剤、シーラント、防火材料の需要は、インフラ整備、持続可能な建築、エネルギー効率向上などのグローバルなトレンドに支えられ、今後も堅調な成長が見込まれます。この統合は、HVACおよび建設業界における材料ソリューションの進化に貢献するでしょう。

---

元記事: <https://www.prnewswire.com/news-releases/dalfort-closes-second-fund-at-166-million-exceeding-its-hard-cap-302785562.html>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# #25 ResearchGate論文：動的ディスプレイ向けに水素結合を可逆的に制御する半相互浸透性オルガノゲルOPSAを開発

公開日 2026年06月04日 ResearchGate (Wiley - Advanced Materials Technologies) グローバル



## 概要

ResearchGateで発表された論文によると、動的な光学デバイス向けに、水素結合相互作用を可逆的に制御できる半相互浸透性ネットワークオルガノゲル光学感圧接着剤（OPSA）が開発された。このOPSAは、繰り返しの変形下でも動的な接着安定性を向上させることを目的として設計・作製され、高い剥離強度、柔軟性、高透過率を示し、フレキシブルエレクトロニクスへの応用が期待される。

## 詳細

### 主要成果

ResearchGateで発表された最新の研究論文によると、動的な光学デバイス向けに、水素結合相互作用を可逆的に制御できる半相互浸透性ネットワークオルガノゲル光学感圧接着剤（OPSA）が開発されました。このOPSAは、繰り返しの変形条件下でも優れた動的接着安定性、高い剥離強度、柔軟性、および高透過率を達成し、次世代のフレキシブルエレクトロニクスに革命をもたらす可能性を秘めています。

### 技術・臨床詳細

本研究で開発されたOPSAは、従来の感圧接着剤が持つ課題、特に繰り返しの曲げや伸張といった動的応力下での接着安定性低下を解決するために設計されました。主要な技術的特徴は以下の通りです。

- **半相互浸透性ネットワーク構造:** ポリマーとオルガノゲルが半相互浸透性ネットワーク（semi-interpenetrating network, semi-IPN）を形成することで、材料の機械的強度と柔軟性を両立させ、応力分散能力を向上させます。
- **可逆的な水素結合相互作用:** 接着剤の分子設計に、温度や機械的応力によって形成・切断が可能な水素結合が導入されています。これにより、外部刺激に応じて接着剤の粘弾性特性を動的に調整し、動的な変形下でも安定した接着性能を維持することが可能になります。
- **高い剥離強度と柔軟性:** 開発されたOPSAは、従来の接着剤と比較して高い剥離強度を示しつつ、フレキシブルデバイスに必要な優れた柔軟性を保持します。これにより、多層構造のデバイスにおいて、剥離やクラック発生のリスクを低減します。
- **高透過率:** 光学デバイスへの応用を考慮し、可視光域で90%以上の高い光透過率を達成しており、色変化や光損失を最小限に抑えます。

これらの特性の組み合わせにより、ディスプレイの多層構造における剥離やクラックの発生リスクを低減し、デバイスの寿命と信頼性を向上させます。

## 背景・業界文脈

フレキシブルエレクトロニクス、特に折りたたみスマートフォン、ウェアラブルデバイス、およびフレキシブルディスプレイの市場は急速に拡大しています。これらのデバイスは、頻繁な曲げ、伸張、圧縮といった動的な変形に耐える必要があり、それに伴い、内部の接着剤には高い柔軟性と動的な接着安定性が求められます。従来の光学感圧接着剤（OCA/PSA）は、静的な接着には優れるものの、動的応力下では剥離や劣化を起こしやすいという課題がありました。本研究は、このギャップを埋めるための重要な一歩であり、次世代のフレキシブルデバイスの性能向上に不可欠な基盤技術を提供します。

## 今後の展望

今回開発されたOPSAは、フレキシブルディスプレイ、電子ペーパー、フレキシブルセンサー、ウェアラブル医療機器など、広範な動的光学デバイスおよびフレキシブルエレクトロニクスへの応用が期待されます。可逆的な水素結合による自己修復や粘弾性調整能力は、デバイスの耐久性を高め、寿命を延長する可能性があります。今後、この技術を基盤として、さらに多様な用途に特化したOPSAの開発や、大規模生産への適用に向けた研究が進められることで、フレキシブルエレクトロニクス市場全体の成長を加速させることが期待されます。

---

元記事: [https://www.researchgate.net/publication/405705215\\_Semi-Interpenetrating\\_Organogel\\_Optical\\_Pressure-Sensitive\\_Adhesive\\_With\\_Reversible\\_Hydrogen-Bonding\\_Interactions\\_for\\_Dynamic\\_Optical\\_Devices](https://www.researchgate.net/publication/405705215_Semi-Interpenetrating_Organogel_Optical_Pressure-Sensitive_Adhesive_With_Reversible_Hydrogen-Bonding_Interactions_for_Dynamic_Optical_Devices)

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# #26 Fengling New Materials、電子・医療・光学産業向けUV硬化型接着剤の専門メーカー

公開日 2026年06月02日 YouTube (Fengling New Materials) 中国



## 概要

Fengling New Materialsは、電子部品、医療機器、光学コンポーネント、自動車産業など、幅広い産業用途向けにUV硬化型接着剤、エポキシ接着剤、および先進的なボンディング材料を専門とするメーカーである。同社は、医療機器の組み立てからPCBおよびエネルギー貯蔵システムまで、信頼性の高い接着および保護ソリューションを提供するUV硬化技術の進歩に注力している。

## 詳細

### 主要成果

Fengling New Materialsは、UV硬化型接着剤、エポキシ接着剤、および先進的なボンディング材料の専門メーカーとして、電子部品、医療機器、光学コンポーネント、自動車産業といった多様な産業分野に高品質なソリューションを提供しています。同社は、信頼性の高い接着および保護ソリューションを通じて、これらの産業における製品の性能と寿命向上に貢献しています。

### 技術・臨床詳細

Fengling New Materialsが提供するUV硬化型接着剤は、数秒で迅速に硬化するという最大の利点を持ち、生産効率を劇的に向上させます。これらの接着剤は、高透明性、優れた耐薬品性、耐熱性、そして低収縮性といった特性を兼ね備え、特に光学レンズの接着やディスプレイのラミネートなど、高い精度と性能が求められる用途でその真価を発揮します。エポキシ接着剤は、高強度、耐湿性、耐薬品性に優れ、PCB（プリント基板）の固定や半導体パッケージングにおいて広く使用されています。医療機器分野では、生体適合性を持つ接着剤が、デバイスの組み立てや封止に不可欠であり、Fenglingはその要求に応える製品を提供しています。同社は、これらの材料を通じて、電子デバイスの小型化、熱管理の改善、および長期信頼性の確保に貢献しています。

### 背景・業界文脈

現代の製造業、特にハイテク産業では、生産プロセスの高速化、コスト削減、そして環境負荷の低減が求められています。UV硬化技術は、溶剤を使用しないためVOC（揮発性有機化合物）排出が少なく、エネルギー効率も高いため、これらの要求に応える理想的なソリューションとして注目されています。Fengling New Materialsは、中国を拠点とする企業として、急速に成長する電子機器および医療機器市場の需要に対応し、国際的な競争力を高めています。同社の専門知識は、接着技術の進化が製品性能に直結する分野において特に価値があります。

## 今後の展望

Fengling New Materialsは、UV硬化技術とエポキシ接着技術における継続的な研究開発を通じて、製品ポートフォリオをさらに拡大し、多様な産業ニーズに対応していく方針です。特に、5G通信、AIデバイス、EVバッテリーシステムなど、新たな技術分野での応用開発に注力するでしょう。同社は、高品質な製品とカスタムソリューションを提供することで、顧客企業のイノベーションを支援し、グローバル市場でのリーダーシップを確立することを目指しています。また、環境に配慮した製品開発を推進し、持続可能な社会の実現にも貢献していくことが期待されます。

元記事: <https://www.youtube.com/watch?v=WLwLcMPetq0>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# #27 Siegwerk、繊維ベース・フレキシブルパッケージング向けに循環型経済戦略を統合した「Cirkit Novaseal」ヒートシールラッカーを発表

公開日 2026年06月02日 Packaging Strategies ドイツ



**KHS**

Filling and Packaging – Worldwide

**ENGINEERED WITH HEART  
FILLED BY PASSION**

## 概要

Siegwerkは、繊維ベースおよびフレキシブルパッケージング向けに、一貫したシーリング、ホットタック性能、および接着強度を提供するヒートシールラッカーポートフォリオ「Cirkit Novaseal」を発表した。このポートフォリオには、エネルギー効率の高い加工のための低いシール開始温度と、高速パッケージングラインのための高いホットタックを持つバリエーションが含まれる。循環型経済戦略を製品開発に統合し、持続可能性と性能を両立させる。

## 詳細

### 主要成果

Siegwerkは、繊維ベースおよびフレキシブルパッケージング業界向けに、持続可能性と高性能を両立させたヒートシールラッカーポートフォリオ「Cirkit Novaseal」を発表しました。この新製品は、一貫したシーリング性能、優れたホットタック、および高い接着強度を提供し、特に循環型経済戦略を製品開発に統合している点が特徴です。

### 技術・臨床詳細

Cirkit Novasealポートフォリオは、幅広いパッケージング用途に対応する複数のバリエーションで構成されています。主要な技術的特徴は以下の通りです。

- **一貫したシーリング性能:** 異なる基材や機械条件下でも安定したシーリングを実現し、製品の保護と鮮度維持に貢献します。
- **優れたホットタック:** 高速パッケージングラインにおいて、接着剤が初期段階で十分な強度を迅速に発揮し、生産効率を向上させます。これにより、ライン停止のリスクが減少し、生産スループットが向上します。
- **低いシール開始温度:** エネルギー効率の高い加工を可能にするため、比較的低い温度でシーリングが開始されるように設計されています。これは、製造時のエネルギー消費を削減し、コストダウンにも寄与します。
- **高い接着強度:** 物理的ストレスや環境変化に耐えうる強力な接着を提供し、パッケージの完全性を長期間維持します。

Siegwerkは、これらの製品開発に循環型経済の原則を組み込んでおり、材料の選択から生産、そして最終的なリサイクル可能性までを考慮しています。これは、リサイクルしやすいパッケージングソリューションの需要が高まる中、業界の新たな標準を設定するものです。

## 背景・業界文脈

今日のパッケージング業界は、消費者の環境意識の高まり、そして厳格化する環境規制によって、大きな変革期にあります。特にフレキシブルパッケージングは、その利便性と材料効率の高さから広く利用されていますが、そのリサイクル性の課題が指摘されてきました。Cirkit Novasealは、この課題に対処するために開発され、メーカーが持続可能な目標を達成しつつ、高性能なパッケージングソリューションを提供できるように支援します。Siegwerkは、印刷インキおよびコーティングの世界的リーダーとして、この分野で長年の専門知識を有しています。

## 今後の展望

Cirkit Novasealヒートシールラッカーポートフォリオの導入は、持続可能なフレキシブルパッケージングへの移行を加速させる重要な一歩となるでしょう。この技術は、食品、飲料、医薬品、パーソナルケア製品など、幅広い製品のパッケージングに採用され、リサイクル可能な素材の利用を促進することが期待されます。Siegwerkは、この革新を通じて、顧客の持続可能性への取り組みを支援し、環境負荷の低いパッケージングソリューションのリーディングプロバイダーとしての地位を強化していく方針です。今後、さらなる材料の最適化と循環型経済に貢献する製品開発が進められることで、パッケージング業界全体の持続可能な進化を推進するでしょう。

---

元記事: <https://www.sustainabilitymea.com/siegwerk-launches-cirkit-novaseal-heat-seal-lacquer-portfolio-for-fiber-based-flexible-packaging/>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)

# #28 HenkelとHans Claussen、Nor-Fishing 2026で海洋用途向けLOCTITE®接着剤・シーラント・コーティングを展示

公開日 日付不明 Henkel Adhesives ドイツ



## NOR-FISHING

### 概要

Henkelは、Hans Claussenとの提携のもと、Nor-Fishing 2026でLOCTITE®の接着剤、シーラント、コーティングのポートフォリオを展示する。これらのソリューションは、海洋用途特有の厳しい要件を満たすように設計されている。海洋環境における機器の信頼性と耐久性を確保し、メンテナンス効率の向上に貢献する。

## 詳細

### 主要成果

Henkelは、パートナーであるHans Claussenとともに、「Nor-Fishing 2026」において、海洋用途の厳しい要件に特化したLOCTITE®ブランドの接着剤、シーラント、およびコーティングの包括的なポートフォリオを展示します。この展示は、海洋環境における機器の信頼性、耐久性、およびメンテナンス効率を向上させるための最先端ソリューションを紹介するものです。

### 技術・臨床詳細

LOCTITE®製品は、海洋環境特有の課題、すなわち塩水腐食、極端な温度変化、振動、および高湿度に対する優れた耐性を持つように設計されています。展示される主な製品カテゴリと技術は以下の通りです。

- **スレッドシーラントおよびリテーニングコンパウンド:** 海洋機器のねじ込み接続部からの漏れを防ぎ、振動による緩みを防止します。耐薬品性、耐熱性に優れ、分解が必要な場合の低ブレークアウェイトルク製品も提供されます。
- **構造用接着剤:** 金属、複合材料、プラスチックなど、多様な基材の強固な接着を実現します。これにより、溶接や機械的固定具に代わる軽量で耐久性のある接合が可能となり、腐食のリスクを低減します。
- **ガスケットおよびシーリング材:** エンジン部品、ポンプ、バルブなどのフランジ間の液漏れを防ぎ、長期的なシール性能を確保します。
- **耐摩耗性コーティング:** プロペラシャフト、ポンプハウジング、船体の一部など、摩耗や侵食に晒される表面を保護し、機器の寿命を延長します。

これらの製品は、海洋産業におけるダウンタイムの削減、運用コストの低減、および安全性の向上に直接貢献します。

## 背景・業界文脈

海洋産業は、漁業、海運、オフショアエネルギー、造船など多岐にわたり、使用される機器や構造物は、過酷な環境条件下で動作することが求められます。腐食、摩耗、振動といった要因は、機器の故障やメンテナンス費用の増大を招く主要な課題です。このような背景から、高性能な接着剤、シーラント、コーティングは、機器の寿命と信頼性を確保するために不可欠な要素となっています。Nor-Fishingは、世界の漁業および海洋産業における重要な展示会であり、Henkelが最新のソリューションを提示する理想的な場となります。

## 今後の展望

HenkelのLOCTITE®製品群は、海洋産業の多様なニーズに対応することで、この分野でのリーダーシップをさらに強化するでしょう。特に、持続可能性と環境規制の強化が進む中、海洋生態系への影響を最小限に抑える環境配慮型製品の開発が重要になります。Henkelは、革新的な材料ソリューションを通じて、海洋機器の効率性、安全性、および環境性能の向上に貢献し、漁業および海洋産業の持続可能な発展を支援していくことが期待されます。今後、デジタル技術との連携による予測保全や、より簡便な施工が可能な製品の開発も進むでしょう。

---

元記事: <https://next.henkel-adhesives.com/no/en/events/loctite-and-hans-clausen-nor-fishing.html>

収集日: 2026年06月05日 | 自動記事収集・翻訳システム (Gemini API使用)